BEST SUPPORTER
Sanki
株式会社 三 機
工作機械、切削工具、専用機、治工具類、電子機器、環境機器
ロボット各種（協働ロボット、配膳ロボット、AMR、AI外観検査）
モノづくり支援サイト モノ蔵 検索

10月号
2024年
（令和６年）
第581号

中部機工新聞

発行所
株式会社 中部機工新聞
〒460-0003
名古屋市中区錦2-12-8 御幸本町ビル３F
TEL 052(265)5103
FAX 052(265)5104
購読料 年間 5,500円
振込先 三井住友銀行 梅田支店
口座番号 普通 9655353

NITTO KOHKI
日東工器株式会社

東京ビッグサイトで開催

1262社出展 世界最大級誇示

〝技術のタスキで未来へつなぐ〟 学生対象 アカデミックエリア新設

世界最大級の工作機械見本市『JIMTOF2024（第32回日本国際工作機械見本市）』は、11月5日（火）～10日（日）の6日間、「東京ビッグサイト（東京国際展示場）」全館を使用して、出展者1千262社、5千743小間の過去最大規模で開催される。

JIMTOFは、工作機械やそのあらゆる周辺機器が一堂に会する、ものづくりの総合見本市であり、かつ最先端の技術・製品が世界中から集結する、世界最大級の国際技術ショーである。

主催は、一般社団法人日本工作機械工業会（会長＝稲葉善治氏、ファナック）／株式会社東京ビッグサイト（社長＝前田信弘氏）。

同工業会がこのほど発表した（速報）9月の受注総額は、1千252億9千700万円で、前月比113・1%、前年同月比93・5%となり、2024年の累計では1兆1千億7千500万円。年初の見通しでは1兆5千億円。年後半の新たな需要を見込んでの判断で、終盤に差し掛かり、その手応えも感じられ始めている。

これらを背景に『JIMTOF2024』では、一段と需要の喚起が図られるのを期待したい。

〝技術のタスキで未来へつなぐ〟これが今回の開催テーマである。JIMTOFに焦点を合わせ、新製品開発を進めている出展者が非常に多く、毎回半数を超える出展者が〝初披露〟の製品を出展し、新製品・技術をいち早く見られる点が来場者から高い評価を得ている。

また、出展者の展示だけでなく併催企画も多く実施される。今回も多彩な講演会や、最新技術トレンドを体感できる企画展示、製造業全体の未来を担う学生を対象とした学生企画など、「国際技術ショー」としてのプレゼンスを発揮する企画を展開する。

その中で第2回目となる『Additive Manufacturing（アディティブ・マニュファクチャリング・積層造形）Area in JIMTOF2024』は南1ホールにて併催される。AMエリアにおける出展規模は53社、192小間となっている。

前回展ＪＩＭＴＯＦ2022

過去最大規模で併催事業充実

AMエリア拡充 講演等も時流

JIMTOF2024は過去最大規模（前回展より175社125小間増加）での開催となり、併催事業等も充実度を増している。次はその一例。

【アカデミックエリア】

工作機械業界及び「ものづくり」に関しての理解を深めることを目的に、過去のJIMTOFにおいて会場内に分散していた主催者企画に加えて、新規企画を南4ホールに集約した「アカデミックエリア」を新設。特に学生が出展企業の総務・人事担当者と直接交流できる「キャリアマッチングスクエア」や、工作機械業界への知見を深められる体験型コンテンツをはじめとした「企画展示」、工業系の大学をはじめ53機関の研究発表が一堂に集まる「IMECポスターセッション」、そして、多目的ステージに併催された「オープンカフェ」は、ドリンクサービスと無料Wi-Fiを完備、リラックス空間として活用できる。

【講演会・セミナー】

開催初日の11月5日（火）には、基調講演として、『ものづくりに夢を！THKが挑戦する新発想EV』と題し、THK代表取締役会長CEO寺町彰博氏と、SN DESIGN PLATFORM代表取締役CEO中村史郎氏が講演を行う。

また特別講演にて、トヨタ自動車Executive Fellow河合満氏、前田建設工業ICI総合センター執行役員ICI総合センター長岩坂之氏、宇宙航空研究開発機構（JAXA）有人宇宙技術センター技術領域主幹大塚聡子氏が登壇する。

さらに、JIMTOF2024の特別併催展として、南展示棟1階で開催する「Additive Manufacturing Area in JIMTOF2024」内の主催者セミナー会場でも、日替わりでAM／3D プリンティングに関する様々なセミナーを実施する。

来場者向けコンテンツ

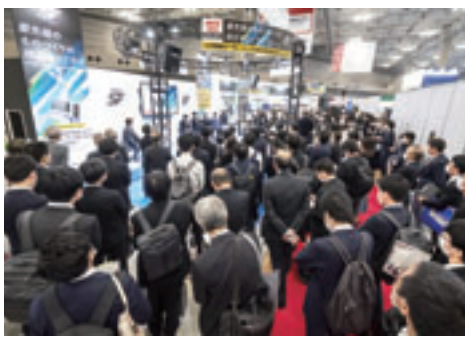
【JIMTOF INSIGHTS】

JIMTOFでは、「製造業界の魅力・やりがい・面白さ」を伝え「製造業のイメージアップと将来を担う若年層などへの認知度向上を図るために、日本のものづくりを応援するYouTubeチャンネル「JIMTOF INSIGHTS（ジムトフ・インサイツ）」を今年の6月に初公開した。

JIMTOF2024期間に限らず、会期前、会期中そして、会期後にも長期的・継続的に情報を更新し、ものづくり業界に関する情報を積極的に発信して行く。既に公開している動画「芝浦機械工場見学編」に加えて、10月中旬にはJIMTOF2024企画展示と連動する形で、新たな動画コンテンツを公開する予定である。

【シャトルバス・ジャンボタクシー】

広い会場内で目的のホールへ効率よく移動できるよう、シャトルバスとジャンボタクシーを運行する。今回のJIMTOFにおいて実施する時差開催に対応して、国際展示場駅からの直通ルート、会場内巡回ルートを時間によって設定し、回遊性の向上を図る。


前回話題を集めた企画展示

☆運行ルート（予定）

〈巡回シャトルバス〉
▽（8：30～11：00）りんかい線国際展示場駅⇔南2ホール
▽（11：00～17：15）りんかい線国際展示場駅⇒東7ホール⇒南2ホール（以下循環）
▽（17：15～18：00）りんかい線国際展示場駅⇒東7ホール
※最終日は～15：00

〈会場内巡回ジャンボタクシー〉
▽（8：30～10：00）りんかい線国際展示場駅⇔南2ホール
▽（10：00～17：00）東1ホール⇒西・南展示棟4階⇒南展示棟1階（以下循環）
※最終日は～15：00

JIMTOF2024 開幕に向けて

一般社団法人 日本工作機械工業会
会長 稲葉善治

工作機械産業の新技術発表の舞台であるJIMTOF（日本国際工作機械見本市）は、1962年の初開催以来、業界関係者の弛まぬ努力と工作機械にかける情熱により、工作機械ビジネスの創出に寄与しながら成長を続けてきました。

今回で32回目を迎えるJIMTOF2024は、出展社数・小間数ともに過去最多であった前回を更に上回り、過去最大規模になることが見込まれます。また、規模を拡大しながら、展示の質でも最高を目指しております。この度は、最新鋭の工作機械、最先端の技術が一堂に集まるJIMTOFにご来場頂きます世界各国・地域の皆様、本展示会に向けて研究開発に励まれている出展各社、広報面で多大なご協力を頂いている報道関係の方々に心よりお礼申し上げます。

JIMTOF2024のテーマは、「技術のタスキで未来へつなぐ」です。このテーマには、最先端の工作機械技術・製品をJIMTOFから世界に発信することで、製造業のポテンシャルを最大限に引き出し、無限に拡がる未来の可能性を切り拓こう、という熱い想いが込められています。

このテーマを出展製品・技術を通して具現化するべく、出展者一同、鋭意準備を進めてきました。前回展で見られた、デジタル技術による稼働監視・予防保全、周辺機器類と融合した工程集約や省人化はさらに進化し、JIMTOF2024では生産システム全体の効率化・最適化に向けたソリューションの展示が期待されます。

一方、主催者としては、併催プログラムの目玉として、南4ホールに出展者と学生をつなぐ「アカデミックエリア」を新設します。このエリアには、JIMTOF出展者による学生向けPRコーナー「キャリアマッチングスクエア」や、当会会員の出展ブースをテーマ別に巡る学生ツアー等の就活コンテンツを盛り込みます。加えて、全国の理工系学生の皆さんを招いて開催する、恒例の「工作機械トップセミナー」と連携することで、シナジー効果を発揮し、未来を担う人材に、ものづくりの喜びや醍醐味を引き継ぎたいと考えます。

また、アカデミックエリアでは、旋盤やCAMプログラミング体験などを通じて、工作機械業界への知見を、楽しみながら深めることができる「企画展示」、技術的シーズとニーズの出会いを生み出す「IMEC（国際工作機械技術者会議）ポスターセッション」、ドリンクサービスと無料Wi-Fiを備えた「オープンカフェ」などを設け、学生だけでなく来場者全般を対象としたイベントやサービスを充実させます。

このように、新たな取り組みを加えながら、JIMTOFは、時代のニーズを的確に捉え、最先端の技術を発信し続けることで、次なるステージを目指して参ります。

末尾になりますが、全ての出展者にとって、JIMTOF2024が、世界のものづくりの発展に貢献する良きビジネスの契機となるよう、心よりご祈念申し上げます。

JIMTOF2024 特集企画（1～7頁）

一方南4ホールに、学生を対象とした「アカデミックエリア」を新設する。モノづくり業界の次世代を担う学生と出展者を繋ぐことで、将来の進路選択の参考や就職活動に役立つ情報提供も行われる。

このほか、DX化の推進と充実した会場内サービスが実施され、来場者が快適な空間で参観できる環境が創られる。

JIMTOF出展製品紹介

オークマ

ロボット＋自動化システム
人手不足対応、環境負荷低減

オークマ（愛知県丹羽郡大口町）のブースでは『ともに創る明日へのステップ』をテーマに、労働人口減少による製造現場の人手不足、気候変動など様々な社会課題を解決するソリューションを提案する。

MU－500VⅢ＋OMR20コンパクト自動化システム

具体的には、人手不足に対しては工程集約による生産性向上を実現する5軸制御マシニングセンタや複合加工機、手作業による小ロット加工と機内ロボットによる連続運転を簡単に切り替えられるARMROID。そして簡単に機械に接続でき、柔軟な運用が可能な省スペースロボットセルOMR、更にロボット・周辺機器や搬送装置などを組み合わせた自動化展示により、ユーザーの課題に応じたソリューションに導く。

〈主な出展製品と特長〉

▽5軸制御立形マシニングセンタMU－500VⅢ＋移動式協働ロボットOMR20＝クラス最高の精度安定性を誇るコンパクトな5軸加工機「MU－500VⅢ」と、必要な時に手軽に自動化できる移動式協働ロボット「OMR20」によるコンパクトな自動化システム。

▽複合加工機＋次世代ロボットシステムMULTUS B250Ⅱ ARMROID＝複合加工機の加工室内にロボットをビルトイン。省スペースで、様々なワークに対応でき、誰でも簡単に操作できるロボットシステム。付属ストッカの移動で、手作業により小ロット加工とロボットによる連続運転を簡単に切替え可能。

▽複合加工機＋ロボット加工セルMULTUS B300Ⅱ smarTwinCELL＝複合加工機とロボット、計測、エアブローを組合せたロボット加工セル。自動化システムの専門知識が不要かつ事務所のPCでロボットプログラム等を事前準備して迅速な立上げが可能。

【問合せ先】☎0587（95）0033
小間番号E6048

菱高精機

新たな工具で変化に対応
切削工具、研削盤も出展

菱高精機（高知県高岡郡中土佐町）はJIMTOF2024において、新製品コーナーを主力に、時代の変化に対応した新たな工具など、多彩な製品を紹介する。

参考出品のアイテムも豊富に取り揃えており、主な製品としてドリルでは『深穴加工用、高硬度用、ロウ付け』製品を、好評のサーメットリーマでは『ヘッド交換式、ソリッド、ロウ付け』も展示する。

自動清掃用工具Titan

また、切りくずなどを清掃する目的の自動清掃用工具『Titan』、低価格高性能工具シリーズ『T－KOCHI』も紹介する。

一方、大好評のCNC自動5軸工具研削盤『EPSILON』や、画像測定器『ジャストスコープRX』を展示、新提案として手作業で行っている再研磨後などのホーニングを機械加工に置き換えていく、切削工具メーカならではの視点からプロトタイプ機も展示を予定している。

【問合せ先】東京☎03（5600）8881、名古屋☎052（872）1351
小間番号W1022

なお、同社ではHPもリニューアル。より見やすく操作性も考え、デザイン・構成を一新した。各種展示会や新製品情報など、顧客の「知りたい」に応えられるよう、情報の充実化と発信を進めている（参考＝http://www.ryoco.co.jp/）

東京精密

EV対応の計測・測定に照準
オプトスコープネックス等出展

〝Experience the ACCRETECH Value〟を掲げる東京精密（東京都八王子市石川町）は、JIMTOF2024では、アプリケーションのテーマを〝電動自動車xEV〟とし、特に電気自動車（EV）のコア部品である、e－Axle／Battery／Electronics生産分野における最適な計測ソリューションを中心に、多数の新製品や測定の自動化パッケージと共に出展する。

次に注目の非接触三次元表面粗さ・形状測定機『Opt－scope NEX（オプトスコープネックス）』シリーズを紹介する。3D白色干渉顕微鏡Opt－scopeは、レンズ倍率に関わらず垂直方向に一律0.01nmと高分解能、ナノ表面性状を低倍率レンズで測定できるので広範囲をIショットで高速測定が可能である。

Opt－scopeの測定対象物は多岐にわたり、サブナノ表面性状が多く存在する半導体関連部品、ナノからミクロンまで様々な表面性状が存在する自動車関連部品などがある。しかし、なかには高さが数百㎜、重さ数十キロのワークピースを測定することがあり、その場合従来のOpt－scopeでは測定台に積載することができず小さくカットすることを余儀なくされ、カットに要する工数および測定後のワークピースは破棄となることが課題だった。

そこでラインナップに新たに追加されたのが、あらゆるワークピースにフレキシブルに対応する、新プラットフォームモデル「Opt－scope NEX」である。既存モデルでは、これまで不可能であった大型ワークピースの設置・測定が可能（最大積載荷重96kg、最大ワーク高さ591㎜積載可能サイズ・荷重は型式による）。

シリーズの中で、今回のJIMTOF2024には測定者がストレスなく作業できるオールインワン設置型（DXタイプ）で自動化・省力化を実現するコラム電動横送り機能を有する『Opt－scope R NEX DX－26』と卓上設置対応型（SDタイプ）の『Opt－scope S NEX SD－12』を出展。

それぞれHV（ハイブリッド車）部品のカムシャフト、Electronics部品のパワーデバイス材料に使用されるSiC（シリコンカーバイト）ウェーハの測定ソリューションを提案する。

【問合せ先】☎029（831）1234
小間番号E7027

Opt－scope NEXシリーズ本体

エヌティーツール

複合旋盤用タイプ
ブースト マスター『BMAL型』など紹介

エヌティーツール（本社＝愛知県高浜市芳川町）のブースで、来場者に最も強力なアピールされるのが、複合旋盤用『Boost Master（ブーストマスター）〈BMAL型〉』である。

BMAL型は、マシニングセンタ用『Boost Master』における同社独自技術を応用した、複合旋盤での外径旋削加工時の切屑対策に最適なクーラント増圧ツール。

ミーリング軸の回転を利用しクーラントを最大15MPaに増圧・吐出することで、加工中に切屑の分断を促しワークへの切屑巻き付きを防止する。一般的な外付けの高圧ポンプを必要とせず、高圧対応配管などの設備改造も不要。これらと比較して消費電力やCO_2排出量を約70％低減することができる。カーボンニュートラル実現につながる有力製品と言える。

また、ワーク搬送の自動化などで発生するワークへの切粉の巻き付き問題を解決。さらに切粉分断により、機内の切粉処理での機械停止時間の短縮を実現する。なお、ブース内では、加工のデモンストレーションを行い、加工についても様々な提案を行うことでニーズに応える。

ブーストマスターBMAL型

【仕様】

▽対応機種＝各メーカー機種ごとに個別に設計・対応

▽対応クーラント＝水溶性のみ

▽クーラント入力圧＝7MPa（1.5MPa以上は付属の流量絞り弁の装着が必要）

▽クーラント吐出圧：MAX15MPa

▽クーラントろ過精度：10㎛以下推奨

▽被削材：アルミ・鉄を推奨

▽推奨使用回転数：6000㎥

▽標準ノズル穴径：φ0.4㎜

このほか出展する主力製品は、CNC旋盤用ハイドロチャック、CNC旋盤・内部給油用クーラントバイトスリーブ、完全自社開発の非接触ツールプリセッタなど。

【問合せ先】エヌティーツール営業部☎0566（54）0101
小間番号W2050

DMG森精機

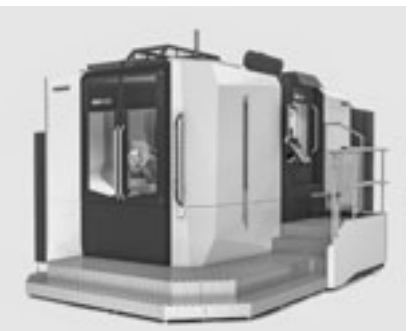
〝MX〟で自動化を推進
AMエリアでは新機種日本初披露

DMG森精機（グローバル本社＝東京都江東区潮見）は、工程集約機による自動化の推進を提案する〝マシニング・トランスフォーメーション（MX）〟をテーマに、複合加工機、5軸加工機、アディティブマニュファクチャリング（金属積層造形）による工程集約、ユーザーの生産性向上に貢献する自動化システム、地球環境の保護に貢献するGXの取り組み、そして、全体プロセスから生じる情報の収集・可視化・分析を行うDXを紹介する。

会期中ブースでは、高精度5軸制御横形マシニングセンタ『INH63』や自律走行ロボット『AMR 2000』、世界初披露となる製品や同社認定周辺機器（DMQP）を含めた最新ソリューションを提案する。

また、金型補修やコーティングに最適なパウダーノズル方式（DED）による、アディティブマニュファクチャリングと切削加工のハイブリッド機『LASERTEC 3000 DED hybrid』による実演加工も大きな見どころ。

一方、同社は〈AM Area〉にも出展（小間番：AM126）。こちらのブースでは、日本初披露となるパウダーベッド方式（SLM）のレーザ金属積層造形機『LASERTEC 30 SLM 3rd Generation』による実演加工や、多数のワーク展示を通してアディティブマニュファクチャリングにおける最新のソリューションを紹介する。


高精度5軸制御横形マシニングセンタ「INH63」

なお同社では、東京グローバルヘッドクォータにてJIMTOF2024と同時開催する、事前予約制のオープンハウス『東京テクノロジーウィーク』にて最新機種の展示・実演加工を実施する。

【問合せ先】03（6758）5900
小間番号E8001

彌満和製作所

Z－PROブランド中心に出展
新製品 Z－PRO CAST CH投入

彌満和製作所（東京都中央区京橋）は、今回のJIMTOF2024では、〝ちょっと長いのが良いんです〟でお馴染みの独自のセミロング形状「Z－PRO」製品を中心に出展する。

今回、新製品であるZ－PRO鋳物用ストレートタップ クールホール『Z－PRO CAST CH』について紹介をする。

『Z－PRO CAST CH』は、一般スチールやアルミ圧延材等に比べ工具摩耗が早い傾向にある鋳鉄（FC）、ダクタイル鋳鉄（FCD）、アルミ合金鋳物（AC）、アルミ合金ダイカスト（ADC）などの被加工材に、マシニングセンタ＋内部給油の加工環境で抜群の効果を発揮するタップである。

独自の刃形状により、切りくずを分断し排出性を向上したことで、アルミ合金鋳物類（AC、ADC）に対して中～高速域（～50m／min）、鋳鉄類（FC、FCD）では～30m／minにて加工が可能となる。さらに、内部給油加工に最適なクールホール径の採用で、切りくず排出性が向上し、安定した連続加工が可能である。

鋳物用ストレートタップ クールホール『Z－PRO CAST CH』

「CAST CH」の由来は、被加工材のCasting（鋳物）、Aluminum die casting（アルミ合金ダイカスト）、ハンドタップ形状のStraight（ストレート溝）、マシニング加工での内部給油にも使用できるCH（クールホール仕様）の頭文字を組み合わせ、「CAST CH」と名付けている。

なお、彌満和製作所ブースでは、ねじ加工における困りごと、疑問点をスパッと解決をコンセプトに、1日4回のねじ加工トラブル対策のプレゼンを実施する。

【問合せ先】03（3561）2711
小間番号W1074

JIMTOF出展製品紹介

ソディック
フェムト秒レーザ加工機『LSP4040』初出展

ソディック（横浜市都筑区仲町台）は、最新の工作機械とその応用技術を多数展示する。ラインナップするのは、形彫り放電加工機、ワイヤ放電加工機、マシニングセンタ、そして世界初出展となるフェムト秒レーザ機など、高精度を誇る製品群で、また、自動走行ロボットによるワークの自動搬送も実演する。

注目のフェムト秒レーザ加工機『LSP4040』は、10数年にわたり研究分野向けに行ってきたフェムト秒レーザの基礎研究をもとに開発した精密微細加工機で、セラミックス、光学ガラスなどの脆性材料からダイヤモンド、超硬合金などの高硬度材を微細に加工する。

もう少し詳しく紹介すると、フェムト秒レーザはパルス幅が短いため加工物に熱が伝わるよりも早く照射を終えることができるので、熱影響による割れやデブリ（飛散した被加工材料が冷え固まって堆積したもの）が発生しにくいという特長がある。

なお、搭載するレーザ発振器は限定せずに、要望に応じたレーザ発振器をカスタマイズ仕様として装置に組み込み対応することが可能である。

また、装置の特長としては①レーザ発振器のカスタマイズ対応②AI経路最適化機能③トルネード式集塵ノズル装備④光軸ズレの抑制⑤機上計測機能などがあげられる。

フェムト秒レーザ加工機ＬＳＰ4040

ソディックの機械群は、自動車分野・電気電子分野に加え、航空・宇宙事業やメディカル分野をターゲットにした高精度かつ高効率な金型・部品加工向けにラインアップを図っている。

JIMTOF2024では、高性能な機械単体だけでなく、自社製の周辺機器やソフトウェアを組み合わせた「Total Manufacturing Solution」を展開し、〝未来の製造技術〟が体験できる。

【問合せ先】☎045（942）3111　小間番号E4015

新潟精機
穴径測定を効率、高精度に
Sライン精密測定プラグゲージ

新潟精機（新潟県三条市林町）は、差し込むだけで瞬時にワークの穴径測定を行える、高精度穴径測定器『Sライン精密測定プラグゲージ』がJIMTOF2024出展の主力製品となる。

「穴径測定」については、測定者の熟練度によって測定値が変動してしまう。一方、シリンダゲージで測定をすると正確性に欠け、量産品検査となると長時間要してしまうのが現場の悩み。それを解決したのがSライン精密測定プラグゲージである。

Sライン精密測定プラグゲージは、現場のワークに合わせたオーダー製のヘッドと、現場の測定環境に合わせたホルダ等の周辺機器を組み合わせた測定システムである。ダイヤルゲージや電気マイクロメータ等のφ8ステム測定器と組み合わせることにより、これまでの穴径測定以上に効率的かつ高精度に行える。

さらにメリットとしてあげられるのが、ヘッドの底面を穴の底面に当てながら測定をすることで、測定が安定する。任意の測定ポイントに合わせた専用ヘッドをオーダー製作でき、球状測定子による点接触となるので、ピンポイントでの測定が可能になる。プラグゲージ等の限界ゲージとは異なり、穴径の測定結果を数値で管理することが可能である。

Sライン精密測定プラグゲージ組み合わせ

3点測定ヘッド（標準タイプ）

また、デジタルタイプのダイヤルゲージや電気マイクロメータと組み合わせることで、PCへ測定値を転送・確認が行えるなど。

但し、ワークに対して専用設計のため、測定範囲が小さい面もあるが、これも量産品のワークに対しては、『測定範囲を狭くすることができるため、精度の高い測定が行える』という大きなメリットとなる。

誰でも簡単に、効率的で高精度な穴径測定ができる、この三大特徴を持つSライン精密測定プラグゲージは、発売以来大型展示会で継続的な出展をしており、引き合いも順調に伸びていることから、ここでも期待大である。

なお、ブースでは、自動測定サンプル機を使用したSライン精密測定プラグゲージの展示も見どころとなる。

【問合せ先】PT事業部☎0256（33）5502　https://niigata-seiki.co.jp/lp/s-line_plag_gauge/　小間番号E7006

京セラ
最新切削工具を多数出展
新材種『PR20シリーズ』展開

京セラ（京都市伏見区竹田鳥羽町）は、『Technology Leads to a Bright Future』をコンセプトに、新製品をはじめ、強い生産現場づくりをサポートするデジタル・DXの取り組み、EVや航空機などの産業別ソリューションなど多岐にわたる展示を行う。

新製品展示は、新材種「PR20シリーズ」や自動盤用突切り工具「KGZ」、小径ソリッドドリル「KDA Mini」など最新工具を多数展示。また、加工状態を可視化するセンシングツール、工具管理から改善提案までつなげるスマートファクトリーシステム「ツールオーガナイザー」の活用事例なども紹介する。

溝入れ・突切り加工用新材種「ＰＲ20シリーズ」

新材種「PR20シリーズ」は、溝入れ・突切り加工用に特化したPVDコーティングの新材種で、今年4月から各種工具向けに展開を開始した。

溝入れ・突切り加工は、連続加工が主となるため、インサートの摩耗進行が早く、仕上げ面や加工精度の悪化、バリ発生などが課題である。

PR20シリーズは、この溝入れ・突切り加工の特性に合わせて、新たに専用の新コーティング「MEGACOAT NANO EX」を開発。独自の成膜プロセスの確立などによって、高含有アルミ（Al）層の結晶構造の適正化やナノ積層化を実現し、切削熱による酸化や摩耗に強いコーティングが誕生した。

また、PR20シリーズは、自動盤用突切り工具「KGZ」、浅溝入れ工具「GBA」、内径溝入れ工具「SIGE」向けにインサートをラインアップ。鋼、ステンレス鋼、鋳鉄の高精度・長寿命・安定加工によって、ユーザーの生産性向上に貢献する。

【問合せ先】☎075（604）3651　小間番号W1014

ブラザー工業
『SPEEDIO』ラインナップ
最新のデバリングセンター DG-1登場

ブラザー工業（名古屋市瑞穂区苗代町）は、30番のコンパクトマシニングセンターのブランド『SPEEDIO（スピーディオ）』の新製品、主力製品をラインナップする。

最新の「デバリングセンター SPEEDIO DG-1」は、ダイカスト部品のバリ取り加工に特化した専用マシンで、従来手作業で行っていた領域をカバーすることで、人手不足という直面する大きな問題を解決に導く。

また、ロボットやNC加工機によるバリ取りでは、プログラムの作成や加工経路の修正に時間を要していたが、容易に短時間で工程を立ち上げることができるバリ取り専用加工機として、ブラザー独自の加工立ち上げ機能により、効率的なバリ取り作業を実現する。

この他、高トルク仕様では新たに主軸ベアリング径を拡大し、剛性を向上。鉄の重切削加工を始めとした、幅広いワークの加工に威力を発揮する「S700Xd2」、Y／Z軸移動量の拡大。最大φ500、高さ320㎜の広い治具エリアを実現。中物ワークの多面加工に対応する「U500Xd2-5AX」、旋削加工とマシニング加工の工程を集約した複合加工により生産性を高め、さらに同時5軸機能で複雑な形状の加工を実現する「M200Xd1-5AX」、横型MCのφ600X580の広い治具エリアで、工具退避などにより、φ800まで拡大可能。アルミブロックの高速加工を実演する「H550Xd1」などを出展、なんと出展する全モデルで実演加工を行う。

なお『SPEEDIO』は、昨年誕生10周年を迎え、その後シリーズを拡大してきた。その技術の進化を実感できる貴重な場となる。

新製品デバリングセンター SPEEDIO『DG-1』

【問合せ先】☎056（95）0080　小間番号E6044

第一測範製作所
テーマは簡略化と高精度化
『おぢやスタンプラリー』を実施

第一測範製作所（新潟県小千谷市坪野）は、『測定の簡略化と高精度化』をテーマに、面倒な測定や検査を「誰でも」「簡単に」「手間を省き」「素早く」を可能にする製品群を展示し、〝測定工数の削減〟、〝高精度な測定〟といった高まるニーズに応える。

光学式非接触小径内径測定器ＩＤＭ－30ＥＸ２

新製品群においては、測定精度および分解能、繰返し精度がさらに向上した『光学式非接触小径内径測定器IDM-30EX2／100EX2』、ねじ検査に機能を集約し汎用性を向上させた『ねじ自動検査ユニットBee-1Lite』、好評の従来製品ADIMがコンパクトになり利便性が向上した『分散自動検査装置ADIM-Compact』、軽量、高精度で使いやすさ抜群な『トリモス社製ハイトゲージV1／V1+』など新たな傾向が見どころとなる。

またこのほか、ロボット内径／ねじ検査システム、内径自動測定機、ゲージ・特殊ゲージ、空気／電気マイクロメータデジタル表示ユニット『Smep』、ボールねじ『OSユニット内蔵ボールねじ』などもラインナップする。

一方、同本社の所在地小千谷市から今展に出展する7社全ての小間を訪問することで抽選により小千谷市の名産品が当たる『おぢやスタンプラリー』が企画されている。

この企画は新潟県中越大震災から20年の歳月が経過することに対して、復興と感謝の意を示すものであり、実施期間はJIMTOF2024開催期間中。

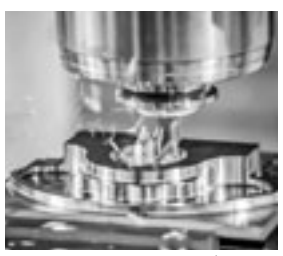
対象となる7社は、第一測範製作所はじめ、エヌ・エス・エス、オヂヤセイキ、タカハシキカイ、日本ベアリング、ユキワ精工、理研精機。

【問合せ先】☎0258（84）3911　小間番号E7017

ジェービーエム
東館において Mastercam 出展
ＣＡＭと工具、ホルダのコラボ提案
南館ではＡＭ実用化向け実演加工

ジェービーエムエンジニアリング（東大阪市本庄西）は、JIMTOF2024では東館および南館（AMエリア）で用途別に出展紹介する。

東館では、時間・コスト・作業も効率化を実現する、世界でもっとも使われている3次元CAD／CAMシステム『Mastercam』を展示。切削CAMとして長年に亘り多くのユーザーから支持されているMastercamの強みは、製造現場の多様な要求に対し、加工マシンの能力と使用工具・ホルダ等の特性を生かした最適設定を生み出せる機能性である。


Mastercam イメージ

今回の出展では、Mastercamと工具メーカー、ホルダメーカーの機能性を最大限に引き出した「CAMシステムとの最適コラボレーション」を新たなアプローチとして提案する。

また、切削加工に求められる加工精度、品質、加工スピード、トータル的な生産性向上、またDXを含めたSDGsに対応する持続可能な社会実現に取り組むCAMと工具、ホルダのコラボを展示する。

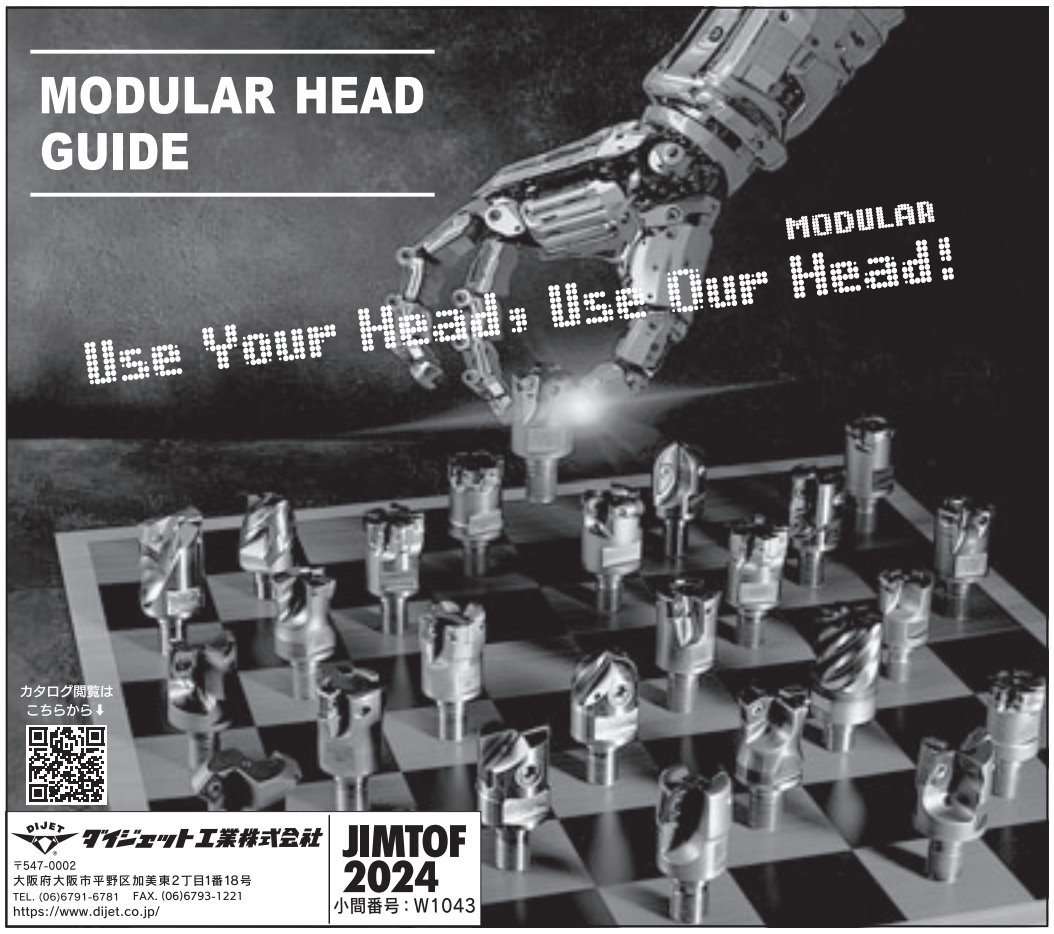
一方南館では、昨今注目を集めているブルーレーザ搭載WLAMマシンMetio M600、国際特許取得済みのセンターフィード&マルチビームヘッドを搭載した国産LMDマシンALPIONという、ワイヤタイプ、パウダータイプそれぞれのマシンで実演加工を実施する。

金属ワイヤを使用した高密度な造形や非モルテン方式による圧倒的な速度感を実感できるのに加え、積層専用CAMソフト『ADDITIVE MASTER LUNA』をALPIONに搭載してその機能を紹介する。

【問合せ先】☎06（6744）7331　小間番号E5028・AM111

再研磨のことなら BTT にご相談ください
最小径 φ0.2mm
JIMTOF 2024 西1ホール W1051
超硬工具・ハイス工具（φ0.2mm～）など お任せください!!
Best Trust Tool BTT.CO.,LTD.
ビーティーティー株式会社
〒463-0808 愛知県名古屋市守山区花咲台二丁目801番地
TEL.(052)736-8441(代) FAX.(052)736-8443

JIMTOF2024 出展 東京精密ブース 東7ホール E7027
JIMTOF2024 出展のご案内 ▸
https://www.accretech.com/jp/product/measuring/event/20241105.html
Experience the ACCRETECH Value.
「Experience the ACCRETECH Value.」を掲げ、お客さまの計測ニーズに対して、東京精密グループが提供する製品・サービスを実際に体感いただくことができる価値ある場を提供してまいります。
次世代自動車のコア部品である e-Axle / Battery / Electronics産業における最適な計測ソリューションを中心に、多数の新製品や測定の自動化パッケージと共に出展いたします。
ACCRETECH 東京精密
https://www.accretech.com



JIMTOF出展製品紹介

産業別に展示コーナー設置

住友電気工業

小型・自動旋盤用工具

APM型ほか幅広く展示

住友電気工業（兵庫県伊丹市昆陽北）は、同社の最新技術に加え、GXやDXに関する取組みを紹介する。自動車・EVをはじめ航空機や小物部品といった産業別に展示コーナーを設け、幅広い製品群を展示する。また、次世代につながるセンシングツールを通じた豊富なソリューションも提案する。なお、会期中にはステージでのプレゼンも実施を予定している。

作業性・安全性向上の『APM型』

出展製品の中で注目されるひとつが小物部品加工用ヘッド交換式クイックチェンジホルダ『APM型』である。

APM型は、ヘッドのみ脱着することでインサート交換時の作業性、安全性を向上させ、段取り時の設備停止時間を削減でき、生産性向上に寄与する。

また、優れたヘッド交換繰り返し精度を誇り、高精度ポリゴンテーパ形状により、交換繰り返し精度5μm以内を実現している。シャンクサイズは10、12、16㎜角で、CNC自動旋盤等に広く対応する。

この他出展ブースでは、次の製品などがラインナップする。

ステンレス鋼旋削用コーティング材種『AC6135M／AC6145M』＝AC6135Mは、PVD新コーティングの採用により、一部断続・黒皮加工において優れた耐摩耗性・耐欠損性を両立。AC6145Mは、PVD新コーティングと高靭性超硬母材との組み合わせにより、強断続加工における絶対的な安定性を実現する。

また、複合円弧形状の切れ刃により、小さい切込角と大きな切込みを同時に実現するSEC-スミデュアルミル『DMSL型／DMSW型』、従来品に対し加工負荷を大きく低減しつつ、耐欠損性を高めた切れ刃形状により安定した高能率加工を実現マルチドリル『MDH型』も注目するところである。

【問合せ先】☎07(771)0568
小間番号W1041

環境に配慮した提案

オーエスジー

革新的な転造タップ

GREEN TAP

オーエスジー（愛知県豊川市本野ケ原）は、自動化、省人化が可能な工具の開発を通じ、生産現場の人手不足問題に対応する。また、持続可能な社会の実現に向け、環境配慮につながる製品を提案する。

JIMTOF2024の出展製品でその筆頭に挙げられるのが、独自の新製法を採用して開発された高機能・低炭素型転造タップ『GREEN TAP（GRT）』である。GREEN TAPは、従来と比較しタップ製造時の消費電力量を削減することで、CO_2排出量を削減する。オーエスジーは環境に配慮した製品を提供することで、持続可能な社会の実現に貢献する。

GREEN TAP

GRTの特長的な形状は、被削材の塑性流動をCAE解析し、刃先強度を最大限に高めるために開発された特殊ねじ部仕様（PAT・P）。耐折損性・刃先強度が向上し、高い耐久性を実現する。耐久性の向上は廃棄物の削減にも繋がる。サイズはM1～M6の13アイテム。

このほかラインナップするのは、オーエスジーの最新技術を駆使してさまざまな被削材に対応し、幅広い加工を実現するためのプレミアムな『Aブランド』切削工具。セラミックスや超硬合金、石英ガラスなどの硬脆材を切削加工することで全体の加工コストの低減が可能なPCD工具『硬脆材加工用工具6CxOSG』。小型マシニングセンタに搭載可能な軽量大径『ディスクカッタ PFDC』など。

また、24時間365日利用可能な工具自販機『MONOlith box（モノリスボックス）』。さらに、再研磨・再コーティングの一貫対応についても提案する。

【問合せ先】☎05(82)1111
小間番号W1020

生産性と収益性を向上

イスカルジャパン

最新『LOGIQUICK』シリーズ出展

イスカルジャパン（豊中市新千里東町）は、JIMTOF2024で最新の「LOGIQUICK」（ロジクイック）シリーズ新製品を多数展示する。

『限りない技術革新に挑戦！』をモットーに研究開発を続けるイスカルが、常に変化する市場のニーズを取り込み、加工現場における生産性と収益性の向上を実現するラインナップとなっている。

▽旋削工具「QUICK-SWISS」は、自動盤において背面主軸側での加工範囲を広げる革新的なモジュラー工具。スクリューを回すだけの芯高調整機構付きで、セットアップにかかる時間を短縮。

▽突切・溝入工具「QUICK-PENTA」は、スクリューを完全に取り外すことなくコーナーチェンジが可能。セーフTロック機構の採用により、正確な刃先位置と高い繰り返し精度を実現する。

▽穴あけ工具「QUICK-DRILL」は、独自のクランプ機構と剛性に優れる設計のヘッド交換式ドリル。クロス穴、傾斜穴入口／出口等の不安定な加工条件下でも、ポケットにダメージを与えることなく穴あけ加工が可能。

▽ミーリング工具「QUICK-X-FLUTE」は、主にチタン・耐熱合金の粗加工に最適。カッターは、交換可能なクーラントノズルを各切刃に備え、切削ゾーンへのピンポイント供給が可能。更に、カッター底面からもクーラント吐出が可能で、高い冷却性と潤滑効果により、優れた耐摩耗性と切屑排出効果が得られる。

▽ねじ切りミーリング工具「QUICK-M-THREAD」は、独自の3刃列、低抵抗設計のスレッドミル。様々なねじ形状とピッチに対応する。

【問合せ先】06(6835)5471
小間番号W1044

『PRODUCTION50™』提唱

MOLDINO

EPDBPE－ATH フリーネックタイプ

金型の隅部、深彫り加工に

MOLDINO（東京都墨田区両国）が提唱する「PRODUCTION（プロダクション）50™」とは、最新かつ最適な工具と加工方法で切削時間を半減し、さらには製造費全体のコストカットまで提案する取り組みである。

JIMTOF2024では『トータルコスト削減「PRODUCTION50™」を実現する独創工具と最新の加工提案』をテーマに、加工アプリケーションを多数展示し、加工精度の向上や加工時間の短縮、人手不足の解消といった顧客の課題解決のため、最新の切削工具を使ったトータルソリューションを提案する。

ここで紹介する注目の製品のひとつ、エポックペンシルディープボールエボリューション「EPDBPE－ATH」フリーネックタイプは、〝隅部〟、〝深彫り〟などの金型加工において、工具のタオレにより狙い通りの加工ができず、再加工やゼロカットを繰り返し、結果として加工能率が大きく低下しがちという問題に対して、工具の干渉リスクを低減し、かつ工具集約を実現できる製品で、バリエーションを大きく拡大している。

〔製品の特徴とメリット〕

▽深掘り加工用の超硬ペンシルボールエンドミル。首部テーパ半角、首下長さの豊富なサイズをラインナップ。

▽ボール部はバックドラフト形状を採用、点あたりで切削するためビビリを低減できる。

▽ドライでもウェットでも長寿命な耐熱コーティング「ATH」を採用。

▽首部に段差がないため壁面への干渉リスクを低減。

▽工具が加工部に届かない時に突き出し量を調整できる。

▽把持量の調整で様々な加工深さに対応できるため工具の集約が可能。

なお、推奨できる加工用途は、底部フィレット面の追い込み加工や仕上げ加工の工程集約など。

【問合せ先】本社☎03(6890)5102
小間番号W1059

EPDBPE－ATHフリーネックタイプ

バリの極小化を実現

不二越

バリレスシリーズ中心に出展

不二越（東京本社＝東京都港区東新橋）は、昨年12月に新発売した『バリレスシリーズ（ドリル、タップ、エンドミル）』を中心に、実際に加工したワークとともに展示する。

同シリーズは、「切削加工でバリが出るのは当たり前」、「加工後のバリ取り作業は必要不可欠」といったこれまでの固定観念を覆し、切削バリの極小化を実現。バリの発生を抑制し、バリ取り作業そのものを廃止することが可能となり、ユーザーの工程短縮とコストダウンに貢献できる商品である。

バリレスシリーズ

今回、バリレスシリーズの新たなラインナップとして、様々な加工シーンに対応した新商品をブースにて紹介。バリレスシリーズの新たな価値をさらに提供していく。

また、水溶性加工用ホブ（Hyper AP1）やスカイビングカッタ、フォーミングラックなどの精密工具を、自動車・航空機・産業機械部品の加工ワークと共に展示し、生産性向上に貢献する様々な工具を提案する。

〈主な出展物〉

▽バリレスシリーズ（ドリル、タップ、エンドミル）

▽アクアREVOドリル（マイクロ、スタブ、レギュラ、セミロング、オイルホール）

▽アクアREVOミル（1・5D／2・5D／4D、2枚刃／4枚刃）

▽タップシリーズ（ZTフォーミングタップ、SGタップ、Hyper Zタップ）

▽精密工具（水溶性加工用ホブ（Hyper AP1）、スカイビングカッタ、フォーミングラック）

【問合せ先】☎03(5568)5111
小間番号W1056

JIMTOF出展製品紹介

タンガロイ

注目はタング・マイスター 課題解決し共に未来を創造

タンガロイ（福島県いわき市）は、『未来を共に創造する信頼のパートナー』をメインテーマに、JIMTOF2024に出展する。

同社は、ユーザーの課題を深く理解し、最適な解決策を提供するために共に考え、最新技術と環境適合製品を駆使し、広範な製品ポートフォリオで様々な課題に対応することで、生産性向上のサポートに努めている。

これを背景にJIMTOF2024会場では、直面している課題解決につながる工具を多数展示する。

Tung Meister 実削例

その中でも注目株の一つで、画期的な先端交換式エンドミル『TungMeister』（タング・マイスター）の特長を次に紹介する。TungMeisterの加工ヘッドは、スクエアタイプ、ボールエンドミル、高送り加工用から、面取り加工用、T-スロット加工、さらには仕上げ加工用のバレルタイプまで、多種多様なラインナップを誇る。

ヘッドを取り付けるシャンクも鋼、超硬の他にタングステンタイプも設定し、豊富な製品群から最適な工具が選定できる。また、革新的な取り付け機構はシンプルかつ高精度で、工具交換時間を劇的に短縮し、工作機械の生産性を最大化する。

なお、現在「Let's' Try プロモーション」と銘打って、TungMeisterをお得に試すことができるプロモーションを展開中。詳細については、ウェブサイト等で。

また、ブースではTungMeisterの他、旋削用工具、溝入れ工具から転削、穴あけまであらゆる加工に対応する最新工具シリーズを展示し、革新的な技術と製品を提案する。

【問合せ先】本社☎0246（36）8501　小間番号W1021

ユニオンツール

製品バリエーション豊富 『DLC－ALES』登場

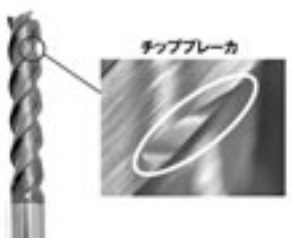
スクエアエンドミル

ユニオンツール（東京都品川区南大井）は、各被削材に最適な工具提案を行い、加工現場の問題解決と製品価値向上に努める。

JIMTOF2024でラインナップする一部の製品とその特長は、次の通り。

▽アルミ加工用高能率3枚刃スクエアエンドミル『DLC－ALES』登場！

「加工能率は上げたいが加工面の精度や品質は下げたくない」そんなニーズに応えるアルミ合金加工用3枚刃スクエアエンドミル。最適化された形状とDLCコーティングで、効率的な切屑排出、良好な精度と加工面品質を実現。【特長】



DLC－ALES

▽外周刃にチップブレーカを設けて切屑を分断。切屑排出性と加工機内での切屑除去の作業性を向上。

▽心厚を大きく設計し、剛性を高め倒れ精度を向上。良好な加工面を実現。

▽DLCコートの採用により、表面の潤滑性・耐摩耗性を向上。

▽UTWCOAT2枚刃ロングネックボール『CWLB』。

銅、アルミ、生材～50HRCまで幅広く対応できる2枚刃ロングネックボール。従来品より長寿命化、鏡面性アップ。R0.05～R3、全190型番。

また11月8日（金）は15：00から、『最新エンドミルの上手な使い方』をテーマに、テクニカルワークショップを開催する。高精度・高能率加工で加工現場を変える！部品加工の効率化。40HRC以下の加工面品質をワンランクアップする－などを提案する。会場は会議棟6F 607。

【問合せ先】☎053（493）1014　小間番号W1015

ヘリカル穴加工エンドミル『ドリミル』

イワタツール

最高峰の加工を提案 『ドリミル』筆頭に

ヘリカル穴加エンドミル

イワタツール（名古屋市守山区花咲台）は、新製品のヘリカル穴加工エンドミル・『ドリミル』をはじめとした、速さ・精度に特化した製品で生産性向上を提案する。

ドリミルは特徴的な底刃形状の高速ヘリカル穴加工エンドミル。一本の工具で複数の穴径に対応が可能。オイルホールで切粉を効率よく排出し、切粉トラブルを回避する。通常のランピング角が2～5°の所を15°以上での加工を実現し、加工時間を大幅に短縮。従来のエンドミルよりもスラストカが大幅に下がり、低剛性ワークや薄板ワークも歪めずに加工が可能。アルミ・自動車外装パネルにも適用。鉄・ステンレス用やラフィングタイプなどラインナップ続々と追加予定。

会場ブースでは、3つをテーマに加工実演を常時行う。「高速・高品質加工」をテーマに、コンパクトマシニングセンター『SPEEDIO U500Xd1』（ブラザー工業）では、ドリミルを使用したアルミの高速加工を行う。例年の穴加工に加え斜め穴やクロス穴など5軸加工機ならではの加工で、工具の限界の速さと高品質な仕上がりに挑戦する。

また、「超微細精密加工」をテーマにブース内には超精密微細ゾーンを設置し、極小径工具や碌々スマートテクノロジー『MEGA』を使用した高精度な微細加工ワーク等を複数展示予定。

一方、近年注目の集まる「ロボットマシニング」をテーマとして、ロボット用にチューニングした低負荷・低振動を誘るドリミルラフィングタイプを使用し、大物のワークにもバリを出さずに加工の実演を行う。

さらに、2日目の6日（水）には、加工時間短縮の方法と事例をテーマにワークショップを開催。加えて同日ロボット加工技術研究会としてロボットマシニングについてのワークショップも開催する。

なお、ブース内にはプレゼンテーションスステージを設け、プレゼン回数を大幅に増やし、共同出展者をはじめとした様々な企業のゲストが登場予定である。

【問合せ先】☎052（732）1089　小間番号W1034

ブロードリーフ

機工メイトⅡのデモ実施 製・販を的確にサポート

ブロードリーフ（東京都品川区東品川）はJIMTOF2024において、機械工具商社向け販売管理ソフト「機工メイトコーナー」では、電子帳簿保存法に対応した「機工メイトⅡ」のデモンストレーションを行う。

また、製造業向け作業分析ツール「OTRSコーナー」では、動画の精微な分析が可能である改善ソフトウェア「OTRS10」に加え、自動分節AIサービス「OTRS＋AI」を展示する。

さらに、いつでも、どこでも、誰でも、すぐに改善活動が始められる改善アプリケーション「Mobile OTRS」のデモンストレーションも行う。

一方、塗装技術向上に最適なVR塗装シミュレーター「SimSpray」を展示し、実際にVR塗装を体験できる。

出展製品一部の特長は次の通り。

▽機械工具商向け販売管理システム『機工メイトⅡ』＝『機工メイトシリーズ』は機械工具商業界と共に歩み続け、業種特化した販売管理システムとして業界導入率は高く、収録商品データ点数はメーカー、業界卸商社（9社）を含め559万点以上！

また、見積、見積依頼、受注、発注、売上、仕入、一度入力したデータは連動していくので、同じデータを何度も入力する必要はない。さらに受注と発注、売上と仕入など同時に入力処理が可能。徹底的に二度打ちを削減することで、業務における効率化・簡素化を推進し、生産性向上を支援する。

▽改善ソリューション『OTRS』シリーズ＝PCソフトウェア「OTRS10」、iOSアプリ「MobileOTRS」、自動分節「OTRS＋AI」からなる『OTRS』シリーズは、映像による動作・時間分析を行うツール。現場のムリ・ムダ・ムラを見える化し、バラツキを無くして作業を標準化することで、作業時間短縮・コスト低減・技術伝承を最適化できる。

▽VR塗装シミュレーター『SimSpray』＝従来より進化した「SimSpray」で更にリアルな塗装トレーニングが可能！。塗装結果のスコア表示や塗装ムラ・ドライスプレー・オレンジピールなどを視覚的に表示することで課題を発見し、バーチャル空間で何度でも塗装トレーニングを行うことができる。

【問合せ先】☎03（5781）3092　小間番号E5045

ブロードリーフのブースイメージ

JIMTOF出展製品紹介

ダイジェット工業

最新MC加工用工具出展
人気のエアロチッパーミニ他

ダイジェット工業（大阪市平野区加美）は多様化、難削化する被削材に適応し、ユーザーの加工改善につながる高能率・高性能な最新MC加工用工具（金型加工用工具・ドリル）を中心に出展する。主な出展製品は、エアロチッパーミニ、EXSKSシリーズのほか、ストライクドリル、頑固一徹、モジュラーヘッドシリーズなど。

エアロチッパーミニ

EXSKSシリーズ

《エアロチッパーミニ》

アルミ加工用工具の高まる需要に対応して開発。小型インサート採用かつ小径多刃仕様とすることで、従来品エアロチッパーと比較し、さらなる高速高能率な加工が可能になった。全周研削による高精度な3次元ブレーカ形状のインサートにより、切削抵抗を低減。高精度な本体設計で刃先精度が高く、優れた立て壁加工精度と正面加工精度が得られる。平行キーの採用でインサートの動きを抑制し、高速回転にも対応。

《EXSKSシリーズ》

両面使用可能な6コーナの経済的なインサートで、極限の高送り加工を可能とする高送りカッタ。インサート拘束面には「ダブテイル構造」を採用。インサートをねじ1本で強固に固定でき、切削抵抗によるインサート動きを抑制、安定した長寿命を実現。小径多刃の05タイプ、切れ味と強度を両立した07タイプ、高切込み高送り加工が可能な09タイプの3種類をラインナップ。加工用途に応じた最適な工具の選定が可能である。

また、11月8日（金）15：00～16：00には、会議棟6F606会議室にて、『頑固一徹による深堀り加工技術と、アルミの高機能刃先交換式工具について』と題した出展者ワークショップを開催する。

ギガキャストの普及により深掘り加工のニーズが高まり、また軽量化を目的にアルミ加工が増えている現状を受け、「頑固一徹」による深掘り加工技術と、エアロチッパーミニによる改善事例について説明を予定している。

【問合せ先】☎06（6791）6781
小間番号W1043

大昭和精機

製造現場に最適な工具棚
『ツールセラー・ジェネシス』出展

大昭和精機（東大阪市西切町）のブースでは、在庫管理・寿命管理システム搭載の工具収納棚『ツールセラー・ジェネシス』が話題を集めそうである。製造現場における自動化・デジタル化は生産機械だけにとどまらず、使用する工具の在庫・寿命管理なども重要になってくる。ツールセラー・ジェネシスは「誤った工具を取り出す」「工具の準備に時間を要する」「工具不足で加工ができない」「滞留、余剰在庫が膨らむ」「現場と事務所で重複した在庫管理」「工具寿命の管理ができない」等を改善すべく製造現場に適した工具収納棚である。

在庫管理システムを搭載し、入出庫処理に応じて該当する引き出しのロックを施錠、LEDと付属のタッチパネルモニタで収納場所を案内する。これにより所在と在庫数のズレの要因となる「棚から自由に工具を持ち出せる」を解消し、システム上で出庫処理をしない限り引き出しは施錠（ロック）となる。またカメラを搭載し、引き出しを解錠している間は録画が可能である。

また、既存の棚を利用した工具管理が行える「ツールセラー・スウィープ」も用意。専用のタブレットPCを用い、キャビネット連動は無いものの、ジェネシス同様の工具管理が行える。

ジェネシス、スウィープ共に製造情報の総合管理ソフトウェア「BIGファクトリーマネージャー」との連動で、加工に必要な製造情報、加工指示書を一元管理することも可能。工場全体のDX化に大きく貢献する。

JIMTOF2024では、マシニングセンタ用ツーリングシステム、超硬切削工具、ボーリングシステム、旋盤用工具、ツールプリセッタ、センサー、ツールIDシステムなどがラインナップする。

【問合せ先】☎072（982）2312
小間番号W2049

ツールセラー・スウィープ㊤とツールセラー・ジェネシス

藤工業

センタレスブレード素材別に展示
長尺では固有技術でリード

藤工業（名古屋市港区入場）は、高硬度素材を使用したL240㎜スルーフィードセンタレスブレードを素材別に展示する。

PCD（ダイヤモンド焼結体）、ジルコニアセラミックス、Hipジルコニアセラミックス、窒化珪素セラミックス、Hip窒化珪素セラミックス、特殊セラミックス2種（KKFとCSC／共に藤工業呼称）、超硬の8種類の素材を用意し、ユーザーに直接手にしてもらう機会を設け、ワークに合わせた素材の選定・検討を補佐する。

また、母材の鋼部と高硬度素材の接着方法もロウ付け・ボンド付けの見本を用いてのアドバイスも行う。

PCD段付きブレード
（±1μmの高精度）

その他長尺L805㎜PCDスルーフィードセンタレスブレード、段差精度±1μmPCDインフィードセンタレスブレード、医療機器・電子部品分野向け非磁性PCDツメ、PCBNセンタレスブレード、PCDバッキングプレート、PCD／セラミックVレスト、超硬を複雑に加工したインフィードセンタレスブレード等を展示する。

L300㎜以上の長尺PCDスルーフィードセンタレスブレードは、藤工業以外ではあまり加工実績がなく、非磁性PCD製品と共に市場認知が進んでいないのでJIMTOF2024を通じ提案分野を広げる。

なお、治具の摩耗で困っている事例をはじめ、ユーザーの長期安定生産に貢献する高硬度素材耐摩耗治工具の提案も行う。

【問合せ先】☎052（383）8783
小間番号W4010

中部部品加工協会

新たな部品加工を提案
省人化、自動化対応も追求

中部部品加工協会は中部地区の部品加工会社を中心に約150社で連携している団体である。昨今のものづくりのサプライチェーンが大きく変化する中、部品加工の対応をさらに強化し一貫生産対応を強化している。また人材不足に対応するための省人化提案では、ロボットティーチングを行う会社だけでなく、効率化治具・ITツール・無人管理種まで幅広い提案を行い、日本のものづくり産業の活性化を図っている。

今回のJIMTOFでも省人化と部品加工の両方を提案し、来場者のニーズに合う工夫を凝らしている。

出展内容の一部を次に紹介する。㈱ベルブルーは、旋盤のクイックチェンジホルダーを提案し、既に多くのメーカーで採用されており、製造現場ではマストアイテムになりつつある。今回のJIMTOFでは、国内メーカー全社に対応できる対応力と同時に展開する丸正精工㈱（CRAEVO）でのロボットによる自動交換を共同提案する。油圧式ではなくマニュアル式で後付けでも対応できるため、これからのものづくりには欠かせない技術である。

金型メーカー出身の丸正精工㈱も多くの案件に対応してきた実績から、自動化の相談は無償で行い、最も安価な提案でロボットに拘らない提示をしたいと意気込みを見せている。

㈱坂井製作所は2023年度『はばたく中小企業・小規模事業者300社』に選ばれた企業で、従来の水栓加工部品だけでなく、美容機器や医療機器の部品加工から組み立てまでの一貫生産委託提案など、ものづくりの対応力をアピールしている。

また㈱山田製作所は現場女子という名のもと、女性中心の製造で精密研磨品の量産対応をするという驚きの企業。今回も日本のものづくり産業の効率化とDXを活用した品質管理からの製造提案を存分に行う予定である。

それ以外にも部品加工の相談はチームや『みつツク』というサイトの強化を行っており、省人化ニーズに対応するための副資材自動管理システム『MURAKAN』もロボテク（RTJ）から公開し始め、反響を呼んでいる。ブースに寄れば、何かしらの機会とヒントが得られるので、毎回目が話せない見どころ満載である。

【問い合わせ先】080-5168-8964（代表理事　村井正輝、info@japan-parts.org
小間番号W3113

みつツク

ブロードリーフ出展！ JIMTOF2024
ブロードリーフのソリューションで、お客様のものづくりをサポートします。
機械工具商向け販売管理システム
機工メイトII Ver3 Welcome! KM2 Third Edition
DX 化支援の最強パートナー！
出展ブース
東5ホール E5045
作業分析／業務最適化ソリューション
OTRS
動画を使った分析でお客様の改善活動をサポート！
技術伝承、生産性向上に最適な改善ツール
VR 塗装シミュレーター
SIM Spray
VR 技術で効率的に塗装トレーニング！
株式会社ブロードリーフ
特販グループ
〒140-0002
東京都品川区東品川四丁目13-14 グラスキューブ品川8 階
0120-47-2610
受付時間 9:00～17:30（土日祝・年末年始を除く）

UNION TOOL CO.
JIMTOF2024
Booth No.W1015
HWLB
HMW COAT
UTW COAT
CWLB
UNION TOOL CO.
本社営業部
〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-1
TEL.03-5493-1030（ダイヤルイン）　FAX.03-5493-1014
URL. https://www.uniontool.co.jp
製品情報

Deep hole drilling for machining
マシニング用
深穴加工ドリル
Made to order
受注生産品
JIMTOF2024
W1022
西1ホール
RYOCO
菱高精機株式会社
RYOCO SEIKI CO.,LTD.
YouTube Search ryoco2830
最新情報・お問合せは WEB にて
URL: http://www.ryoco.co.jp
高知工場
〒789-1401
高知県高岡郡中土佐町大野見吉野 1015 番地
TEL: 0889-59-1200
FAX: 0889-59-1222
広島工場
〒739-0153
広島県東広島市吉川工業団地 2-26
TEL: 082-429-2055
FAX: 082-429-2066
東京営業所 TEL: 03-5600-8881 FAX: 03-5600-8883
名古屋営業所 TEL: 052-872-1351 FAX:052-872-1350
大阪営業所 TEL: 06-6538-7001 FAX: 06-6533-0897
東大阪営業所 TEL: 06-6745-3551 FAX: 06-6747-6560
北陸営業所 TEL: 0761-24-1051 FAX: 0761-24-1054
姫路営業所 TEL:079-221-5750 FAX: 079-221-5751
九州営業所 TEL:092-482-8932 FAX: 092-476-1954
小山営業所 TEL: 0285-31-0285 FAX: 0285-28-9777
海外事業部 TEL: 06-6746-6018 FAX:06-6745-3707
貿易部 TEL: 06-6538-3027 FAX: 06-6538-2616
米子ラボ（機販部） TEL: 0859-46-0980 FAX: 0859-46-0981
東京工場（ハイズ部） TEL: 03-3742-6663 FAX: 03-3745-3741

KYOCERA
京セラブースへお越しください
JIMTOF2024
西1ホール W1014
溝入れ / 突切り加工用 新 PVD コーティング材種
PR20 シリーズ
MEGACOAT® NANO EXで
長寿命加工を実現
MEGACOAT NANO EX Grooving Cut-Off
内径溝入れ
SIGE
自動盤用 突切り工具
KGZ
新開発の SS クランプで安定加工を実現
外径・内径 浅溝入れ加工用工具
GBA
JIMTOF2024
京セラブース
特設サイトはこちら
切削工具の技術的なご相談は
京セラ カスタマーサポートセンター（携帯電話からもご利用いただけます）
0120-39-6369
受付時間 9:00～12:00 / 13:00～17:00
土曜・日曜・祝日・会社休日は受付しておりません　FAX：075-602-0335　MAIL：tool.support@kyocera.jp
※個人情報の利用…お問合せの回答やサービス向上、情報提供に使用いたします。※お問合せの際は、番号をお間違えないようにお願い申し上げます。
京セラ株式会社 機械工具事業本部
TEL：075-604-3651 FAX：075-604-3472
https://www.kyocera.co.jp/prdct/tool/index.html

ホール別出展分野

東１－３　ホール
・工作機械
・鍛圧機械
・その他関連機器

東４－６　ホール
・工作機械
・ＣＡＤ／ＣＡＭ
・その他関連機器

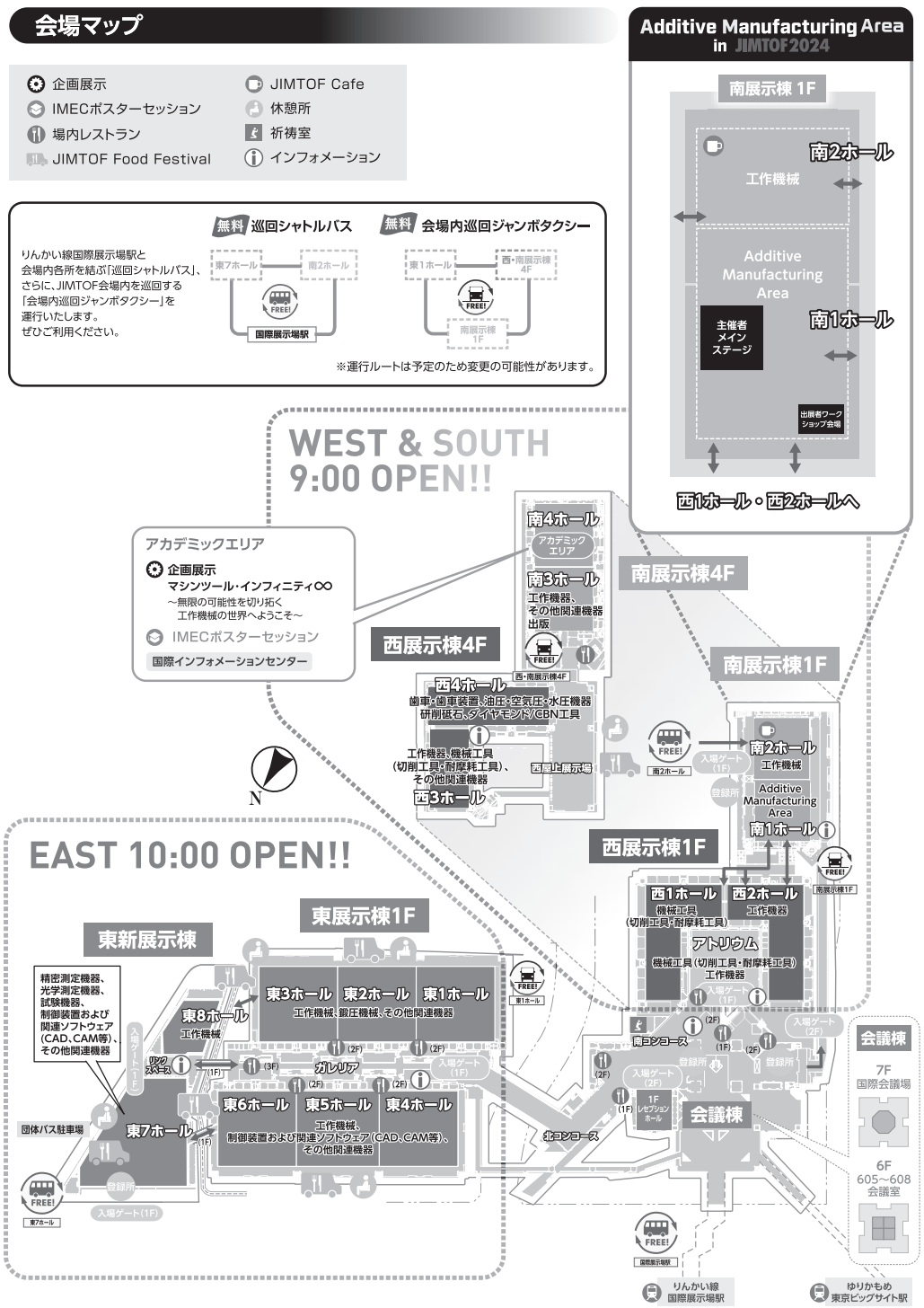
東７－８　ホール
・工作機械
・精密測定機器
・光学測定機器
・試験機器
・ＣＡＤ／ＣＡＭ
・その他関連機器

西１－２　ホール
・機械工具
・工作機器

西３－４　ホール
・ダイヤモンド／CBN 工具
・切削砥石・研磨剤
・油圧・空気圧・水圧機器
・歯車・歯車装置
・機械工具
・工作機器
・その他関連機器

南１－２　ホール
・工作機械
・Additive Manufacturing Area

南３－４　ホール
・工作機器
・その他関連機器
・出版



Additive Manufacturing Area in JIMTOF2024

JIMTOF2024では特別併催展として、『Additive Manufacturing Area in JIMTOF2024』を開催する。

エリア内では出展者による展示に加え、講演会やセミナーも行われ、ＡＭに関連する最新の製品や最先端の技術、ソリューションと効率的に出会える。

ＡＭエリア出展者

アイエイアイ、愛知産業、APPLE TREE、イノテック、イノバテスト・ジャパン、岩間工業所、エイチ・ティー・エル、SK Additive lnnovat ion、エスケーファイン、オープン・マインド・テクノロジーズ・ジャパン、小楠金属工業、国立大学法人金沢大学人間機械創造研究室、兼松エレクトロニクス、兼松ケージーケイ、キーエンス、技術研究組合次世代３Ｄ積層造形技術総合開発機構、キャステム、久宝金属製作所、クリモト、コアテクノロジーアジア、コウセルジャパン、桜井製作所、シーケービー、シーフォース、ShareLab、ジェービーエムエンジニアリング、シマダマシンツール、正保鉄工所、スギノマシン、スリーディー・システムズ・ジャパン、そうぎょう、大銑産業、大同特殊鋼、大陽日酸、チタ製作所、DMM. com、ＤＭＧ森精機、ティーケーエンジニアリング、デルタ電子、東海挟範、東海ソフト、公益財団法人東京都中小企業振興公社、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、DOHO、ニクニ、ニデックマシンツール、一般社団法人日本ＡＭ協会、日本軽金属、日本３Ｄプリンター、一般社団法人日本３Ｄプリンティング産業技術協会、日本精機、日本電子、日本フルードシステム、日本ホートンノガ・ウォーターズ、BirthT、パトライト、原製作所、バリュー・ファインダー、bestat、富士高周波工業、フュージョンテクノロジー、Brule Inc.、ヘガネスジャパン、前田シェルサービス、松浦機械製作所、憬抜製作所、マツザワマシナリー、丸菱製作所、丸紅情報システムズ、三菱電機、渡忠機械。

『MECT2025』来秋開催

中小・スタートアップゾーンを新設

11月1日より出展募集開始

2025年国内最大級の工作機械見本市『メカトロテックジャパン（以下：MECT）2025』の出展募集が11月1日（金）から開始される。

MECT2025は来年10月22日（水）から25日（土）の4日間、会場となるポートメッセなごや（名古屋市港区）・全展示館を使用して開催される。主催はニュースダイジェスト社、共催は愛知県機械工具商業協同組合。

MECTは1987年にスタートし、現在は隔年開催で今回が通算20回目となる。前回の2023年展には、490社・団体（2千101小間）が出展し、約7万7千人が来場した。

出展のメリットは、自動車や航空機など製造業が集積する中部地方の市場に向けて、直接最新製品や技術をPRできること。また、地元の機械工具組合との連携や積極的な広報宣伝、主催者企画として最新加工技術の実演展示、著名人や技術者を招いてのセミナー開催など、来場意欲を高める企画が満載で、確かな動員力を堅持していることである。

また、今回は『中小・スタートアップゾーン』が新設され、中小企業、スタートアップの出展を支援するために、最低限の展示設備を付帯した低料金（15万円・税別）のパッケージ小間を用意する。さらに、このゾーンへ出展することで、自社の製品・技術・サービスを来場者に紹介できるプレゼンテーションコーナーを無料で利用することができる大きな魅力である。予測開催規模は2千小間、来場者数は7万人を見込んでいる。

ワークショップを有効活用する出展者
（MECT2023から　写真は主催者提供）

【出展対象製品】

工作機械、鍛圧・板金加工機、射出成形機、3Dプリンター、機械工具、のこ刃、切削工具、工作機器、測定機器、試験機器、研削砥石、研磨材、油圧・空圧・水圧機器、歯車・歯車装置、環境・安全対応機器装置、CAD／CAM／CAE、制御装置・関連ソフトウエア、産業用ロボット、搬送装置、洗浄機械装置、品質管理・安全・試験認証機関、新素材、マイクロマシン、ナノテクノロジー関連など。

申し込みについては、1小間（2、970×2、970）が基本㎜単位で、料金は31万円（税別）。また、10小間を超える申し込みの場合は出展料金が割引される。①10～19小間5％引き、②20～39小間10％引き③40小間以上15％引き。※別途発生する料金については、その事項を確認。申し込み締め切りは2025年2月28日（金）。（但し満小間になり次第締め切り、受付を終了する）。

なお、出展申し込み方法は所定の申込書（サイトからダウンロード）で、MECT事務局へ。

その他詳細な問い合わせについては、ニュースダイジェスト社MECT事務局☎052（732）2455、愛知県機械工具商業協同組合☎052（889）6128まで。

藤川伝導機

本社新社屋が完成

高付加価値サービスを展開

藤川伝導機（本社＝東京都台東区台東、社長＝藤川文男氏）は、本社新社屋の建設を進めていたが完成に至り、既に8月26日から営業を開始している。

千代田区から台東区へ新築移転したのが1968年。以来55年の経過による老朽化のため、新築する計画が昨年から進められていた。

同社は、FA機器、動力伝導要品の総合商社。1947年（創業者＝藤川利徳氏）藤川鉄工所として創業。現在の藤川伝導機が設立されたのは1950年である。

藤川社長は「ハイテク機械産業において、さらなる自動化・省力化・IT化など技術的要求は日々、高度化・多様化している。時代が求める工業要品をスピーディに調達し、供給責任を全うすることで世界のモノづくりに貢献することが弊社の使命と考えている」とし、また、今回の新社屋完成による新たなスタートを機に「引き続き、全社的に奉仕と誠実をモットーに、お客様のご期待・ご要望にお応えできる高付加価値なサービス提供に努めて行きたい」と方針を打ち出している。

藤川伝導機　本社新社屋

新社屋の概要は、地上5階建て敷地面積633・39㎡、建築面積284・59㎡、延べ床面積1千351・58㎡。

1階はエントランス、倉庫ほか。2階は開放的な営業部スペース。3階はセキュリティを担保した総務部スペース。4階は応接・役員室、打ち合わせ、講習等フリーに使用できる多目的コワーキングスペース。5階は会議室となっており、トータル的に業務の効率化が図られている。

ユアサ商事

テーマゾーンで新たな需要創出

『つなぐ』中部グランドフェア盛況

ユアサ商事中部支社（名古屋市名東区高社、東海ブロック長兼中部支社長＝堂跡陽一氏）の販売組織・中部ユアサやまずみ会（会長＝峰澤彰宏氏、MINEZAWA）の内81社が主催社となり、出展メーカー308社の開催規模で行われた〝つなぐ〟中部グランドフェア2024は、9月6日・7日の2日間、会場のポートメッセなごやに1万1千500余名が訪れ、フェアの実績は263億3千300万円となった。

峰澤彰宏氏

初日は午前中から多くの来場者で会場が込み合い、幸先良いスタートを切った。お目当てのメーカーブースに立ち寄り、テーマゾーンでは「モノづくり（物流／製造）」「すまいづくり」「環境づくり」「まちづくり」の4つのゾーニングから、メーカーとのコラボレーションで創出された『ユアサ商事の総合力』を実感する様子がうかがわれた。

また、関心が寄せられる『生成AI』をテーマとしたグランドフェアセミナーも人気で、connecto me design代表取締役社長佐藤聡講師から、AIとは何か？どのような事が出来るのか？企業での活用方法は？など、業務の改革、改善に役立つ情報を聴いた。

なお、開幕に先立ち行われたセレモニーでは、代表三者がそれぞれの立場でグランドフェア（以下GF）への取り組み姿勢を次のように述べた。（一部抜粋）

手前はテーマゾーンエリア

主催社代表峰澤会長は「つなぐイノベーションを具現化する展示会として、モノづくり、すまいづくり、環境づくり、まちづくりの各分野において社会課題を解決する商品やソリューションを提案する場として準備が整った。また『Growig Together（グローイング・トゥギャザー）』共に成長を目指す展示会としてGFは、国内はもとより、来年2月にはタイ国において開催し、史上初めて日本の文化とタイの文化をつなぐフェアとして期待が高まっている。この二日間、全力で有益な場にして行きたい」。

中部ユアサ炭協会（出展メーカー）代表・四国化成建材眞鍋宣訓社長は、「GFでの取り組みとして、お客様への製品提案、メーカー同士の情報共有の2つが主要な目的となる。現在直面している課題として『災害への対応』、安全・安心をテーマにした商品づくりに軸足を置く。もう一つは『マーケティングの拡大』、強みを発揮し、そして弱みを互いに補強しあう。この様にクリアして行きたい」。

事務局ユアサ商事田村博之社長は「VUCAの時代を迎え、『人手不足』、『カーボンニュートラル』、『AI技術』などの変革が目覚ましい。ユアサ商事はその中で、リアルな情報を入手し、的確に対応するための分析、そしてお客様の課題解決に取り組んでいる。GFでは、〝足元の業績を固める〟、〝明日の糧を探す〟、〝将来の方向性を見い出す〟この3つを掲げ、三位一体となって成果に結び付けたい」と述べた。

次いで、テープカットが行われ開会した。

節目をカタチに
社史　記念誌
制作
企画編集から印刷まで
おまかせください。
そのほか、Webサイト専用コンテンツ・PR映像・配布記念品など周年事業に関わるご準備についてもご相談ください。
できます　非破壊冊子スキャン　資料をバラさずそのままデータ化
企画・デザイン　編集・印刷　システム構築
㈱東海共同印刷
〒467-0851 名古屋市瑞穂区塩入町17-6
TEL(052)822 7281　FAX(052)822-3359
https://www.tkp.co.jp/

Daiwa system
お客様にとっての、
「ベスト」を提案する。
Good design for customers
お客様へのヒアリングを通して
仕様に沿った特殊油圧ユニットを設計・製作します
https://daiwasystem.com/
http://www.shimizu.co.jp
シミヅ産業株式会社
本社／大阪市西区立売堀 2-5-23
名古屋支店
〒454-0014 名古屋市中川区柳川町19-9
TEL 052(678)8711　FAX 052(678)8782
■本社/大阪　■支店/東京・北関東・名古屋・京都・大阪・東大阪・広島・岡山・九州
■営業所/東北・長野・西関東・浜松・北陸・南大阪・姫路・熊本　■出張所/四国・福山・北九州

KITO　アンカー固定不要で3次元搬送を実現！
モバイルライトクレーン

※巻上機がセットになったパッケージ製品も用意！
キトーライトクレーン PROシステム
http://www.slft.co.jp/
株式会社サカイリフテク　名古屋市中区金山1-4-8
TEL.052-331-5381　FAX.052-332-5685

全方向型　究極のアイボルト
フレノ・リンクボルト
●フレノ・リンクボルトは水平面・垂直面に対し回転する画期的なアイボルトです。
●多点吊りの場合、アイ部が安全方向に傾きます。

＊取付面に対し180度、取付軸に対し360度回転します。
＊どの方向からでも吊り上げることができます。
＊危険の伴った重量物の引越し作業にもご使用頂けます。
ご使用例
●金型吊　●コンテナ吊
●工作機械吊　●鉄骨、橋りょう吊
マーテック株式会社
株式会社サカイリフテク
〒460-0022 名古屋市中区金山1丁目4番8号
TEL（052）331－5381㈹
FAX（052）332－5685
http://www.slft.co.jp/

2024年
11月1日(金)
出展募集
開始!!

2025年日本最大級の工作機械見本市
MECT 2025
メカトロテック ジャパン 2025
MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN
2025 10.22 WED - 25 SAT
ポートメッセなごや 10:00-17:00　25日(土)は16:00まで
工作機械、鍛圧・板金加工機、射出成形機、3Dプリンター、機械工具、のこ刃、切削工具、工作機器、測定機器、試験機器、研削砥石、研磨材、油圧・空圧・水圧機器、歯車・歯車装置、環境・安全対応機器装置、CAD/CAM/CAE、制御装置・関連ソフトウエア、産業用ロボット、搬送装置、洗浄機械装置、品質管理・安全・試験認証機関、新素材、マイクロマシン、ナノテクノロジー関連など
大人1人1,000円(税込)　10人以上の団体は1人500円(税込)
公式Webサイトからの事前登録者・海外来場者・学生は無料
主催：株式会社ニュースダイジェスト社
共催：愛知県機械工具商業協同組合
https://mect-japan.com/2025
メカトロテックジャパン

オリオン機械

目指す未来をフェアで展開
10年ぶりの名古屋で活況呈す

オリオン機械（本社・工場＝長野県須坂市、社長＝太田哲郎氏）は9月18日・19日の2日間、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）・第1ファッション展示場を会場に、『オリオンフェア2024inNAGOYA』を開催した。

名古屋でのプライベートフェアは10年ぶりの開催となり、同社産業用機器の最先端技術を誇る製品群がラインナップ、同社の代理店・販売店の動員力で、来場者は2日間で約1千100名を数えた。

今やカーボンニュートラルへの取り組みは必須で、同社ではその実現を見据えた省エネ高効率、環境配慮技術、さらにICT、コネクトに至る最新の提案をステークホルダーへ発信し共有することで、成長分野への足取りを加速させるなど、フェアの実りを上げた。

今回テーマに掲げたのは『カーボンニュートラルの実現　かがやく未来に向けて』。会場は、ノンフロンゾーン、微細加工ゾーン、省エネソリューションゾーン、コネクトゾーン、ブローエアーの省エネ化ゾーン、新技術ゾーン、ドライゾーンで構成。

その中で、コラボゾーンとして微細加工ゾーンでは、碌々スマートテクノロジー、日進工具、オーエスジーが工具、加工サンプル等を出展。微細加工のポイント、ノウハウが紹介され、オリオンの精密空調機とのコラボで加工精度と省エネの両立がアピールされた。

また、ブローエアーの省エネ化ゾーンでは、コンベア付き水切り装置（SDG）、エアー消費量削減パルスブローシリーズ（KOGANEI）、洗浄技術テクニカルセンター（ファインマシーンカタオカ）の紹介など、工場の電気消費量の低減はじめ、新たな省エネメソッドが提案された。

カーボンニュートラルに向けた数々の提案

そのほか各ゾーンにおいて、オリオン独自の先端技術が披露され、新技術ゾーンでは、同社が本格参入する水素関連事業の一端として『水電解水素発生装置・PGH05A』が出展され、注目を浴びた。

一方セミナー会場では、設備設計者・エンジニア向けセミナー、省エネ製品進化のポイント、微細加工におけるポイント、ブローエアーの省エネ化と題して、2日間で内容を変えて実施され、コラボメーカーの講師も加わり最新情報が聴講者に発信された。

なお、初日開場前にセレモニーが行われ、太田社長および同社代理店会・全国産機オリオン会副会長の高田研至氏（井高社長）があいさつ。太田社長は「社業の経過を振り返ることより、〝明日からどうするか!〟を大事に考えている。この先は、ウエイトの高いフロンガスを使用する製品を抑え、『カーボンニュートラルの実現』を最優先課題として全社あげて取り組んでいく。引き続き10年先を見据えた製品開発に傾注し、新工場（本社工場）では、地産地消で『水素事業』を推進する計画である」と述べ、最後に「この2日間、来場されるお客様にはオリオンの事業の方向性を認識していただき、進化するイメージを印象付けたい」と強調した。

また、高田研至氏は「オリオン製品のニーズを捉えた優良性はもちろん、コスト面での対応、革新性のある技術対応には敬服している。当地区でのフェア開催で、代理店の立場でビジネスチャンスの拡大を期待し、また責務として全力で務めたい」と述べた。その後テープカットへと進められ開幕した。

太田哲郎氏

髙田研至氏

印藤産業

安定供給でニーズに対応
感謝フェアで信望高まる

印藤産業（本社＝名古屋市中村区名駅南、社長＝印藤武司氏）は、9月7・8日の両日、本社社屋を会場に『第35回感謝フェア』を開催。秋の需要期に向けて、訪れた顧客に新情報、新商品、サービスを提供し、日頃の取り引きに感謝で応えた。

印藤武司氏

コロナ以降、回復した業績を堅持している同社は、メーカーの協力によるスムーズな仕入れ、それに自社の付加価値をのせて、顧客に安定供給を続けている。

その一連の流れを披露する場が『感謝フェア』であり、営業の集大成の場でもある。

今回も80社を超える出展メーカーが、それぞれの強みと持ち味を発揮し、来場者の購買意欲を高めたのをはじめ、『アウトレットコーナー』では、さらにタイムサービスを設けて、お値打ち感を倍増させ、その効果を出していた。

また、今回は欧米の輸入商品を充実させ、来場者の目先をリフレッシュさせた動きも功を奏した。さらに、来場して楽しんでいただくための企画である、恒例のビンゴゲームに加え、特設のVR（バーチャル・リアリティ）コーナーでは、『海の中』『お化け屋敷』などの仮想空間を楽しむ光景が見られた。

また開場前には、印藤社長が「こうして今年も感謝フェアを開催できるのも、出展・協力メーカーさんのおかげ」と感謝の意を表し、「今回も新規のお客様を多く迎えるので、安心と信頼を築いていただけるよう接客を心掛けて行きたい」さらに「市場は常に変化して行くので、そのニーズに対応し、この先もロングランにフェアの継続に努めて行きたい」と述べ、協力を仰いだ。

次いで、印藤常務、松井専務から2日間の注意事項などの説明があり、シュプレヒコールの後、顧客を迎え入れた。

賑わう5F会場

〝はかる〟技術、自動化促進
測定・計測専門フェア盛況

測定・計測機器の専門フェア『第2回測定・計測総合技術展inNagoya』が9月26日、名古屋市千種区の中小企業振興会館（吹上ホール）2階・第1ファッション展示場で開催された。

『はかる』は未来へつなぐものづくり。をテーマにしたフェアには、測定・計測機器関連メーカー89社が出展。新規出展メーカーも加わり前回に比較して10%程度開催規模が拡大され、各社新たな技術、製品、独自性を紹介すると共に、別会場では5つのタイムリーなテーマについてセミナーが実施された。

機械加工を主としたモノづくり現場には不可欠な測定・計測業務であるが、そこに発生する問題を如何に解決して生産性の向上に繋るかが課題である。

来場者らはその具体的な事例を持ち寄り、また、正確な測定数値を求めるのに不可欠な校正作業も含め、多岐にわたる提案を吸収することで、自動化をはじめとする、自社に最も有効的なコストパフォーマンスを模索し、会場を一巡していた。

また、セミナーでは『品質向上のための校正作業』や『カーボンニュートラルへ向けた測定』『人手不足に対応する自動化』などに対する知識を高め、直ぐにでも手に入れたい手法を学んだ。

今回の開催に際し主催者は「熱意をもってご来場者に接し、直面している課題を引き出しながら解決に導き、関係者の総合力を発揮し、次の案件に結び付けて行きたい」と話した。

なお、当日は1千100余名が来場した。フェアは今後、仙台（10月）、岡山（2025年）で開催を予定している。

第2回測定・計測総合技術展ｉｎ Ｎａｇｏｙａ
込み合う会場内と（下）はセミナー

防災用品『アクモキャンドル』
水につけるだけで　2秒で点灯！
災害時にお役に立ちます
▽軽量・コンパクトなのでバックに入れ、常に携帯できます。
▽一度の点灯で長時間使用できます。
▽乾燥した使用環境なら10年近く保存できます。
工具・産業機器事業　環境社会事業
朝日株式会社
〒467-0003 名古屋市瑞穂区汐路町4丁目4番地
TEL(052)680-7581　FAX(052)680-7815
http://www.asahi-kabu.co.jp/
デジタル在庫

「環境に優しく
コストダウン
そんな刃物の使い方」
ご提案します。
信頼できる再研磨製品と納期をご提供します。
ISO 9001 2000年版 移行審査合格
URL:http://www.ongiken.co.jp/
株式会社 オーエヌ技研
〒441-1347 愛知県新城市川田字本宮道100番7
TEL0536(23)5362 FAX(23)5385

ボルトなし！ 手間なし！
ワンタッチ着脱
ボルトに替わる締結部品
アタッチメントや治具の着脱などを
工具を使わず素早く行えます！
ワンタッチ着脱
新タイプ
ピンホールドクランパー ストロング
以前よりご要望の多かった高いクランプ力を実現、省スペースな強力ピンクランプです。
クランプ力 250N
Value Creator IMAO
代理店
株式会社 服部
〒453-0043 名古屋市中村区上ノ宮町2-21
TEL（052）481ー5336（代）
FAX（052）481ー0411

――ＮＣ工作機械・工具の総合商社――
株式会社 新栄商会
SHIN-EI
■本　社
〒468-0056　名古屋市天白区島田二丁目516番地
TEL(052)801-1222(代)　FAX(052)803-1321
■営業所
名古屋営業所　TEL(052)801-1264　FAX(052)803-1321
豊田営業所　TEL(0565)53-6561　FAX(0565)53-6562
三河営業所　TEL(0566)92-3501　FAX(0566)92-4595
小牧営業所　TEL(0568)22-6611　FAX(0568)22-6631
豊川営業所　TEL(0533)83-6051　FAX(0533)80-7341
岐阜営業所　TEL(058)371-5011　FAX(058)371-5021
津営業所　TEL(059)231-2111　FAX(059)231-2113
浜松営業所　TEL(053)545-9970　FAX(053)545-9972

精密測定機器のナンバーワンサプライヤーをめざして
より正確に、そしてよりスピーディーな
安定供給が私達のモットーです。
◆大阪営業所　☎06-6762-6041代　FAX 06-6762-6141
◆神戸営業所　☎078-926-5241代　FAX 078-926-5041
◆京都営業所　☎075-621-6101代　FAX 075-621-6165
◆滋賀営業所　☎0749-21-3322代　FAX 0749-21-3323
◆名古屋営業所　☎052-322-6241代　FAX 052-331-6350
◆津営業所　☎059-238-1335代　FAX 059-238-1337
◆静岡営業所　☎054-202-7101代　FAX 054-202-7102
◆松本営業所　☎0263-29-5222代　FAX 0263-29-5228
◆金沢営業所　☎076-268-6391代　FAX 076-268-8391
◆岡山営業所　☎086-263-5121代　FAX 086-263-5123
◆福山営業所　☎084-954-0815代　FAX 084-954-0849
◆福岡営業所　☎092-432-0700代　FAX 092-432-0705
◆埼玉営業所　☎048-433-2929代　FAX 048-433-2920
◆横浜営業所　☎045-473-5350代　FAX 045-473-5360
◆北関東営業所　☎028-614-1200代　FAX 028-614-1201
◆仙台営業所　☎022-288-9881代　FAX 022-288-9882
◆Ｅｐｉｘｉｓ課　☎06-6762-6615代　FAX 06-6762-6616
MEASUREMENT PRIDE
UNO
宇野株式會社
〒540-0005 本社 大阪市中央区上町A番23号
☎06-6762-6040代 FAX06-6762-7265
URL http://www.uno.co.jp/
西日本商品センター　〒578-0965 東大阪市本庄西2-6-44　☎06-6747-6047代　FAX06-6747-6048
東日本商品センター　〒328-0002 栃木県栃木市惣社町1510-18　☎0282-29-1356代　FAX0282-29-1357
◆札幌連絡所　◆八王子連絡所　◆広島連絡所
◆盛岡連絡所　◆富山連絡所　◆熊本連絡所
◆秋田連絡所　◆浜松連絡所
UMT タイ現地法人 UNO MACHINERY (THAILAND) CO.,LTD.
バンコクオフィス TEL:02-716-9002 FAX:02-716-9003
アマタオフィス TEL:038-213-114 FAX:038-213-115
UPMV ベトナム現地法人 UNO PRECISION MACHINERY VIETNAM CO.,LTD.
TEL:84-3822-5829 FAX:84-3822-5830

TRUSCO PRO TOOL
「がんばれ!!日本のモノづくり」®
当社はプロツール（工場用副資材）の供給を通じて、日本のモノづくりのお役に立つことを企業の志と考えています。モノづくりに必要とされるプロツールの在庫を全国２８か所の物流センターに配置し、そのアイテム数は約６０万点に及びます。即納こそ最大のサービスと考え可能な限り当日納品でお応えしてまいります。
2026年 OPEN!
2030年 目標在庫アイテム 100万アイテム
物流センター「プラネット愛知」（愛知県北名古屋市）
敷地面積:12,595坪／延床面積:26,795坪
国内最大
AutoStore（オートストア）［高密度ロボット収納システム］
シャトルラック［高速荷合わせ装置］
I-Pack®（アイパック）［高速自動梱包出荷ライン］
国内拠点 89か所
本社 2か所
国内営業拠点 59か所
国内物流拠点 28か所
海外拠点 6か所
現地法人 トラスコナカヤマ タイランド
トラスコナカヤマ インドネシア
トラスコナカヤマ USA
仕入先開拓オフィス
ドイツ、台湾、タイ
JPX PRIME
DXプラチナ企業 2025
トラスコ中山株式会社
プロツール（工場用副資材）専門商社

出展企業を広く募集中

来年４月　東京でインターモールド

（一社）日本金型工業会と（一社）日本金属プレス工業協会、（一社）日本ＡＭ協会は、来年４月16日(水)～18日（金）までの３日間、東京ビッグサイトで「ＩＮＴＥＲＭＯＬＤ／金型展／金属プレス加工技術展／ＡＭＥＸＰＯ」を開催する（運営：インターモールド振興会）もので、現在出展企業を募集中である。

10月末までの申込で割安になる早期申込割引や、初めての出展をサポートする初出展割引など、各種割引制度を設けている。出展申込期日は12月末で、主催者はメリットの多い機会を活用すべく積極的な出展を呼びかけている。

同展では金型や金属プレス加工技術のほか、ＡＭ（アディティブマニュファクチャリング）の最新製品や技術・サービスによるソリューション提案を行う。４展全体でものづくりの進化と革新を広く発信し、相乗効果により製造業におけるビジネスマッチングを促進する。

また運営事務局では、出展者への提供サービスとして次のことを実施する。（予定・一部抜粋）

【展示会情報、出展者情報の発信】

▽公式サイトでの出展者紹介掲載。

▽メール配信やＳＮＳを通じた展示会、出展者情報の発信。

▽展示会案内リーフレット発行と出展者への無料配布。

【展示会内セミナー会場でのプレゼンテーション】

▽テクニカルワークショップやオープンセミナーの開講。

【ＶＩＰラウンジ提供】

▽ＶＩＰ来場者招待。

▽ＶＩＰラウンジ併設、積極的な商談をバックアップ。

〈出展料金〉

▽Ａタイプ（スペースのみ）：一般＝45万1千円、賛助会員＝39万6千円、正会員＝37万4千円、（いずれも税込）。小間仕様サイズ９㎡。

▽Ｂタイプ（基礎装飾・設備付き）：一般＝57万2千円、賛助会員＝51万7千円、正会員＝49万5千円（いずれも税込）。小間仕様サイズ９㎡。〔Ａ・Ｂタイプの正会員・賛助会員価格は、主催団体の会員のみ適用〕

▽Ｃタイプ：（基礎装飾・設備付き）Ｂタイプに付加される内容は要問合せ。一律＝63万８千円（税込）。

なお、申込特典割引きとして10月31日（木）までの早期申込については10％ＯＦＦ。初出展割引５％ＯＦＦ（一般のみ対象）を実施している。

※出品料金については、主催者発表のものと照合のこと。

【問合せ先】インターモールド振興会＝☎06（6944）9911、Email info@im2025@tvoe.co.jp

【公式ホームページ】ＩＮＴＥＲＭＯＬＤ／金型展／金属プレス加工技術展／ＡＭＥＸＰＯ＝https://www.intermold.jp

【出展申込サイト】https://www/intermold.jp/application/

“カーボンニュートラルへの挑戦”四日市でのフェア

名古屋支社６拠点でフェア

ジーネット　カーボンニュートラル　照準に四日市好評博す

半導体不足が緩和しつつ、自動車産業を牽引するＥＶ、ＨＶ、ＰＨＶ市場も動きが少し良くなり、それに伴い関連する設備案件が出だしたタイミングを捉え、「今が動くとき」と積極的にイベントを展開しているのが、ジーネット名古屋支社（名古屋市中区富士見町、取締役支社長＝松吉正訓氏）である。

７～10月の４カ月で６つの拠点で展示会を企画。カーボンニュートラルへの取り組みで生じる課題解決への提案を共通テーマとして、サブタイトルは各拠点で設定し展開。

９月11日には、三重営業所（所長＝枡川修氏）の設営で、四日市文化会館・展示棟を会場に開催され、有力販売店が主催店となってユーザーを動員した。

三重地区では、『Ｆａｃｔｏｒｙ Ｉｎｎｏｖａｔｉｏｎ Ｆａｉｒ 2024～カーボンニュートラルの挑戦＆次世代加工への道～』をタイトルに掲げ、CO_2削減に至るまでを順序立てて提案。現状のそれぞれの加工技術に、ワンポイント付加することで高度な次世代加工につながる例など、またそのために必要な新たに開発された製品等が46社の出展メーカーによって網羅された。

一方、展示とは別会場では、ダイキンＨＶＡＣソリューション東海、ナベヤ、ＳＤＧの３社がセミナーを行い、最新情報を発信した。

ジーネットは、フルサト・マルカホールディングスの始動後、傘下グループ会社との相乗効果で販売チャンネルを増やし、〝総合力でニーズに応えるジーネット〟を展開している。

四日市会場で枡川所長は「お客様の出足が好調で、今後に向けた新たな取り扱い商材を、会場で模索する積極的な動きが強く感じられる」と、接客の合間に話した。

三菱マテリアル 超硬工具　NACHI ドリル・CRE製品
KYOCERA セラチップ　フタバ ダイセット・プレス省力化機器
転造ローラー・ドリル・タップ ねじゲージ・エンドミル　COMMANDO スローアウェイチップ Q-カットシリーズ・ブロックツール
代理店
モリタ　機械工具総合商社 株式会社 森哲
〒467-0875 名古屋市瑞穂区御劔町1-8
TEL(052)871-0221（代）FAX(052)871-0229
URL:http://www.moritetsu.co.jp

熊田達也氏

久満田商会会長

久満田商会（名古屋市北区志賀町、社長＝熊田誠司氏）会長熊田達也氏は、９月13日に満84歳で逝去された。

９月15日に通夜、16日に告別式が、長男熊田誠司社長が喪主となって執り行われた。

二村茂則氏

二村機器常務取締役

二村機器（名古屋市中村区岩塚町、社長＝二村忠宏氏）常務取締役二村茂則氏は９月16日、満47歳で急逝された。

通夜（９月18日）ならびに告別式（９月19日）は、二村家との合同葬により、名古屋市千種区のいちやなぎ中央斎場において、二村忠宏社長が葬儀委員長、二村真琴氏が喪主となって執り行われた。

古屋市北区黒川本通）でしめやかに営まれ、故人の冥福を祈った。

がんばっているあなたをサポートする!!
現場の相棒
乳酸菌GABAゼリー
現場の相棒シリーズの乳酸菌 GABA ゼリーは、シールド乳酸菌を１本で 20 億個、５本で 100 億個と同時に、一時的なストレスの緩和、デスクワーク等の疲労感の軽減につながるといわれている GABA を美味しく摂取できます。
通販ページはこちら▽
現場の相棒
販売者
株式会社ノダキ
nodaki
販売のお問合せは genba-aibou@nodaki.jp まで　TEL:052-561-4371

DMG森精機

欧州本社の起工式挙行

開所予定は２０２６年以降

起工式の様子

ＤＭＧ森精機（グローバル本社＝東京都江東区潮見、社長＝森雅彦氏）は９月10日、ドイツ・バイエルン州の州都であるミュンヘン北部で欧州本社の起工式を執り行った。

ミュンヘン欧州本社は、２０２６年以降に開所予定で、同社欧州最大の開発・生産拠点であるドイツ・フロンテン工場にも近く、欧州の各拠点へのアクセスや世界各地への利便性も良く、国際的な交流の場としての役割を担う。

新本社ビルは６階建てで、延床面積は１万平方㍍。１階の約１千５００平方㍍のショールームには、最新の製品・技術を設置し、顧客との商談やトレーニング、ショールーム見学にも活用する方針で、森社長は、「欧州本社は、お客様・パートナー・社員にとって中心的な拠点となる」とコメントしている。

起工式には、同社の森社長をはじめ、バイエルン州経済・地域開発・エネルギー省のトビアス・ゴットハルト政務次官、ミュンヘン市経済担当顧問のクレメンス・バウムゲルトナー氏、在ミュンヘン日本国総領事館の別所健一総領事、ＪＥＴＲＯミュンヘン事務所の鷲澤純所長らの来賓及び関係者が出席した。

オーエスジー

価格改定（７～10％）

11月18日受注分より

オーエスジー（豊川市本野ケ原、社長＝大沢伸朗氏）は９月12日、主力製品のタップやエンドミルなどの価格を、11月18日の受注分から値上げすると発表した。

値上げ幅は品目別で、タップ（ハイス・ＳＫＳ・超硬）が７～10％、ハイスエンドミル、ハイスドリルが７～10％、超硬エンドミル、超硬ドリル、ダイヤ、ＣＢＮが７％、ゲージが10％、圧造工具が10％、その他の製品が最大10％となる。特殊品、修正品については、都度見積りで価格を設定する。

世界的なインフレによる、原材料の高騰およびエネルギー費、人件費、副資材や物流費の上昇などへの対応策として、製品品質の安定供給とサービスの維持・向上のため、価格改定の実施となった。

東本正彦氏優勝

三重機工商組ゴルフ

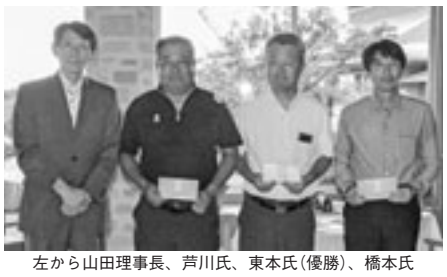
三重県機械工具商組合（理事長＝山田浩氏、コジマ・フジ通商）のゴルフコンペが９月26日、三重県いなべ市の「ナガシマカントリークラブ」で行われた。

参加18名が腕を競った結果、東本正彦氏（岡谷機販）がＮ74・６のスコアで優勝し、三重日立の山岡直樹氏の３連覇を阻んだ。

また、成績発表の後山田理事長が「今日のゴルフが年内の最終イベント。皆さんのおかげで有意義で楽しいひと時が過ごせた。来年は１月の新年会からとなるが、景気の好転を願ってスタートしたい」と協力を仰ぎ、閉会のあいさつとした。

なお、上位者の成績は次の通り。（敬称略）

▽優勝＝東本正彦（岡谷機販）Ｎ74・６Ｈ32・４▽２位＝芦川弘樹（タイセイ）Ｎ75・０Ｈ12・０▽３位＝橋本昌義（オーエスジー）Ｎ75・６Ｈ８・４。ベストグロス＝橋本昌義84。（敬称略）


左から山田理事長、芦川氏、東本氏（優勝）、橋本氏

〝ベスト４〟出揃う

愛知機工組合　野球大会

愛知県機械工具商業協同組合（理事長＝水谷隆彦氏、ミスタニ機販）主催の第83回親善野球大会（実行委員長＝矢野茂雄氏、滝川物産）は、熱中症の心配される夏場を避けて、９月よりいよいよ後半戦に突入した。

９月14日に行われた２試合、９月28日に行われた２試合の結果は別表のとおりである。

が、今後の予定は、Ａ・Ｂ両ゾーンベスト４による準決勝が10月19日に３試合、11月２日に１試合予定されている。

愛機工野球大会試合結果

【Ａゾーン】
９月14日（土）一宮総合運動場

新栄商会	２０１０００＝３
山　善	００１０００＝１
東　陽	０３０１７＝11
サカエ	００００００＝０

【Ｂゾーン】
９月28日（土）草井球場

岡谷鋼機	１２１５＝18
ミズタニ機販	０００＝０
モリタ	０１１０００＝２
ダイドー	７１０００Ｘ＝８

切削工具 / 測定機器・工具
主要取扱いメーカー
・㈱ MOLDINO
・京セラ㈱
・住友電気工業㈱
・ダイジェット工業㈱
・㈱第一測範製作所
・㈱ミツトヨ　他
ISSOKU
標準ねじゲージ
精密機械工具 販売
株式会社 ミユキ商會
〒466-0054 名古屋市昭和区円上町17番21号
TEL(052)882-0471　FAX(052)872-1563

別注品トランク
精密・測定・電子機器、部品の収納トランク、ケースを
一台からご要望どおりに製作します。
取り外しのできる型抜き材
あらゆるモノを パワフルにガードする STシリーズ （アルミ合金製）
用途に合わせ、自在に 内装材をカット
●機器搬送・サービス用トランク
●現金・重要書類用トランク
●現金輸送用トランク
●コンピュータ関連品各種
株式会社 ダイトウ トランク
機械工具の総合商社
近代精機株式会社
KINDAI SEIKI CO.,LTD,
http://kindaiseiki.co.jp
住所：名古屋市南区内田橋２丁目８番１号
TEL：(052) 692-8201代表
FAX：(052) 692-8225

『提案します』
多彩な知識
主要取扱商品
電動工具
作業工具
測定工具
印藤産業株式会社
本社　〒450-0003 名古屋市中村区名駅南四丁目３番４号
電話(052)571－3531番　Fax.(052)571－0959番
金沢営業所　〒921-8043 石川県金沢市西泉５丁目１１６
電話(076)243－3681番　Fax.(076)280－8555番

LOGIQ 3CHAM
THREE FLUTE CHAMDRILL
【ロジック3カム】
×3倍速
■代理店
滝川物産株式会社
本社 名古屋市中川区弁戸町 5-23 〒454-0805
TEL (052) 363-2101　FAX (052) 363-2108

MADE IN JAPANのTOOLを
世界に発信中!!
中華人民共和国
滋賀
名古屋
岐阜西
上海
マニラ
フィリピン
伊藤信本社
イトーノブ
E-mail:info@ito-nobu.co.jp
URL:www.ito-nobu.co.jp
グローバル企業を目指す機械工具の総合商社
伊藤信産業株式会社
■本社　TEL 052-871-4641　FAX 052-871-6257
■滋賀営業所　TEL 0749-45-5177　FAX 0749-45-5188
■岐阜西営業所　TEL 0584-47-7622　FAX 0584-47-7633
■中国：上海法人　TEL +86-21-54220999　FAX +86-21-64062570
■フィリピン法人　TEL +63-49-502-3638　FAX +63-49-502-3727

すべりねじの問題を解決
異音や摩耗の軽減
■表面処理種類の選定や、材質の選定等により、音鳴りや摩耗を軽減します。
錆の抑制
■表面処理により、錆の発生を抑えます。
高精度管理
■研削ねじ等の高度なねじ精度のすべりねじを製作します。
【すべりねじの用途】
・半導体製造装置　・印刷機械
・医療機器　・工作機械
・食品機械　・梱包機械
・アミューズメント他多種
人の力を技術の力に
東洋シャフト株式会社
代理店　伝動装置用品総合商社
株式会社 イワタ
〒466-0059 名古屋市昭和区福江一丁目２２－６
ＴＥＬ（０５２）８７１－４１８１(代)
ＦＡＸ（０５２）８８２－３２６３

現場工具一つから工作機械まで
生産現場全てのソリューションに
新しい価値を提供いたします。
SHAPING VALUE68
ミズタニ機販株式会社
〒460－0022　名古屋市中区金山５丁目５番30号
TEL(052)871－9211　FAX(052)871－9210
URL https://www.mizutanikihan.jp/

機械工具業界に特化したデータと機能で、導入したその日から業績アップが図れる即戦力としてお役に立てます
業界唯一の全日本機械工具商連合会推奨販売管理システム
機工メイトⅡ Ver3
Welcome! KM2 Third Edition
社内業務の効率化　顧客対応力の向上　多様化するニーズへの対応
●データベースから商品が特定できる　●一度の入力で伝票がどんどん出来上がる　●使い方は簡単、利用スタッフが変わっても安心
豊富な商品データベース
機工業界データ収録数 約554万点
商社様データ
https://kiko-mate.jp/ 詳しくは 特設サイト をチェック！
機工メイト 特設サイト　検索
電帳法対応済
BroadleafCloudPlatform"クラウド"
電子帳簿保存法対応ソリューション 電帳DX
株式会社ブロードリーフ　https://www.broadleaf.co.jp　全国29拠点
中部営業課　〒461-0004名古屋市東区葵3-22-8 ニューザックビル5F　TEL052-856-2620　FAX052-856-2622